

フトの提出した政府の食糧助成金總額を九億五千萬弗に制限する趣旨の法案を否決した
(八八四七)

八八六四 米海軍次官訪蒙 米海軍次官フォレストル(八四二〇)は前線視察の爲メル

ポルンに到着本日マツカーサー將軍と會談した (七三一三)

八八六五 英三公使館を昇格 英政府はイラン、ペルー及メキシコの各公使館を大使館

に昇格しグラードを駐イラン大使に、前駐メキシコ公使ベートマンを駐メキシコ大使

に、現駐ペルー公使フォブスを駐ペルー大使に任命した (八七一九)

八八六六 駐日比島大使入京 駐日比島大使ホルヘ・ヴアルガスは午後羽田空港に到着

した (七五〇四)

八八六七 國民職業能力申告令改正 現行技能者登録及青壯年國民登録を一元化し且之

が擴充整備を圖ると共に科學技術者の登録制を創設する爲國民職業能力申告令を改正

することとなり國民職業能力申告令中改正に關する勅令案要綱が國家總動員審議會に

於て決定され技能者、一般青壯年の別なく一定申告除外者を除き男子は十二歳以上六

十歳未滿、女子は十二歳以上四十歳未滿の者は申告するを要することとなつた (八五七八)

八八六八 會社經理統制令改正 政府は大東亞戰爭勃發後の經濟情勢の變化に鑑み會社

經理統制令の重要改正を行ふこととなり會社經理統制令中改正に關する勅令案要綱が

國家總動員審議會に於て決定せられた

八八六九 米機ヲバウルに來襲 我海軍航空部隊に陸海軍地上部隊は來襲の米機二百四機を遊撃其十九機(内不備五)を撃墜した、我方の損害未詳二機

(八八五四)

八八七〇 敵機香港に來襲 香港方面に敵機連合二十七機が來襲帝國海軍航空部隊は之を遊撃遊撃機一機戦闘機三機を撃墜した、我方の損害未詳一機(八六二六)

八八七一 ロンドン空襲 英陸軍省發表に依れば夜間空軍ロンドン地區に來襲うち十二機は市内上空に飛來し多数の爆弾を投下し軍事施設に損害があつた(八七九九)

八八七二 ベルリン空襲 獨逸統大本營發表に依れば米空軍遊撃機隊は強力なる戦闘機隊の直衝下に日晝四部ドイツに侵入敵都市に盲爆を加へたが獨防空陣は之を遊撃其二十六機を撃墜した

(八八三一)

八八七三 米俘虜待遇問題に關する封日通牒發表 米國務次官ステツチニアスは記者會見に於て俘虜待遇問題に關する米國政府の封日通牒は既に日本政府に傳達された旨發表した、向米國務省は俘虜待遇問題に關する二通の封日通牒内容を發表した

(八八五八)

八八七四 反瀛輔軍の兩伊返還に關するパドリオ政權聲明 パドリオ政權は、反瀛輔軍が戰爭を有効に遂行するたの必要を條件の下で兩部イタリシ若干地域の主權を本政權

に返還することに同意した、本政權は從來公布された反樞軸國の法令を合法的に
續する旨を誓約したと聲明した (八八五九)

八八七五 艦隊オウラホマ入渠 米海軍省は日本軍の真珠灣攻撃によつて損壞した艦
隊オウラホマ二萬九千噸が浮揚し乾渠に於て修理中なる旨發表した (七九四三)

八八七六 米太平洋艦隊副司令長官任命 米海軍省は太平洋艦隊航空隊司令官中將ジ
モン・タワーズ John H. Towers が太平洋艦隊司令長官ニミッツの下に副司令長
官に任命された旨發表した (八六一五)

八八七七 アラスカ公路並に加油田開竣工事完了 米陸軍省當局は、アラスカ公路建
設の最終工事は取近完成しカノール油田開竣工事 (七四五七) も略
完了した、此等工事の完成に伴ひ従來獨立部隊となつてゐた西北工兵師團は今同陸
軍西北駐屯軍の指揮下に編入されることとなつた旨發表した (七八四九)

八八七八 米新製攻撃爆撃機A25 米國カークス・ライト航空機製作會社當局は、當
社は從來の急降下爆撃機を改造し新製攻撃爆撃機A25の製作を完了し既に海兵隊に
引渡した、同機は各國が現在所有する如何なる急降下爆撃機よりも多くの爆撃を容
受し暴力も早く且長航続力を得つてゐる旨發表した (八六六一)

八八七九 米國の三金屬需給状況 米戰時生産局當局は、米國は從來鋼鐵・アルミニ
ウム・牛炭鋼の三金屬が最大の不足物資とされてゐたが本年に入り始めて軍需を充分

に頼り得る許りでなく民需にも充分に供給を確保し得ることとなつた旨言明した

(六一〇二)

八八八〇 米英石油會談 米國務次官ステツチニアは記者會見に於て、米英兩國は石

油問題に就て近く會談を開催することとなつた、石油問題にはソ聯の利害も關係して

あることは勿論である、國務省は近く本問題に就て聲明するであらう旨言明した

(八八〇四)

八八八一 ポリヴィア内閣改造 ポリヴィア内閣の内相、農相及内閣書記官長が更迭し

(八六九四)

八八八二 ケーブ・タウン燈火管制中止 南阿聯邦政權はケーブ・タウンに於る燈火管

制を來る二十一日から中止することに決定した

八八八三 芬元首相瑞典首都訪問 元フィンランド首相パーシキヴィ博士 Jumo Paasilkivi

は空路ヘルシンキからストツクホルムに到着した

八八八四 重慶政權の外交官増員 重慶政權外交官は、重慶政權は今回二十八名の外交

官を反瀋韓諸國に派遣し外交陣の立直しを圖ることとなつた旨發表した

(八七四五)

二月十二日 土曜日

(124)

八八八五 米機ラパウルに來襲 我海軍航空部隊に陸海軍地上部隊は來襲の米機二百四十機を邀撃其四十九機（内不確實五）を撃墜した、我方の損害未詳遠五機

(八八六九)

八八八六 米海軍補戦以來の損害 米海軍省は開戦以來の米海軍、海兵隊に沿岸防備隊の損害は次の如く三八七七六名に達する旨發表した

戦死一六一〇九 戦傷八八四六 行方不明九四七五 俘虜三四六 計三八七七六

(八八四四)

八八八七 戦場地域カステロ・ガンドルフオ 地中海方面反樞軸軍司令部はローマ法王駐宮所在地カステロ・ガンドルフオを戦場地域と見做す旨發表した (八七五四)

八八八八 米六驅逐艦進水 米海軍省は大西洋沿岸造船所に於て六驅逐艦一隻竣工用進水 艦五隻が進水した旨發表した (八八四六)

八八八九 米民主黨全國大會開催日決定 米民主黨全國委員會委員長ロバート・ハネガンは、同黨全國大會は七月十九日シカゴに於て開催される旨發表した尚共和黨全國大會は六月二十六日同市に於て開催される豫定である (八六一九)

八八九〇 ポーランド愛國者聯盟ポーランド國民會議創設 モスクワ放送局はワンダ・ワアシレヴスカヤ Wanda Vassilevskaya を總裁とするモスクワのポーランド

愛蘭省聯盟はポーランドに國民會議を創設する旨發表した (八六七三)

八八九一 亞 在留外人に無線電信局の所有禁止 アルゼンチン政府は海内居住の全

外國人に對し無線電信局の所有、使用並に無線電信會社の株式所有を禁止する旨の令

令を公布した (八四一四)

八八九二 帝國並に亞國利益代表團決定 今歲帝國とアルゼンチン國との國交新編の結

果アルゼンチン國に於る帝國の利益はスイス國政府が代表し又帝國に於るアルゼンチ

ン國の利益はスエーデン國政府が代表することに夫々決定を見た旨の外務省府議が表

表せられた(取消一八七〇六に於てスエーデン國が日亞兩國に於る相互の利益を代表

することとなつた旨記載せしも畢竟相違せるに付取消します) (八八〇六)

八八九三 ポリグイアの樞軸商社接収 ポリグイア政府は同國內の樞軸商社を無く接

収する旨發表した (八八八一)

八八九四 バルセロナ港立入禁止 スペイン政府は一般人のバルセロナ港埠頭地區への

立入を禁止した (八七九五)

八八九五 昭和十九年度國民貯蓄増加目標額 昭和十九年度國民貯蓄増加目標額は國民

貯蓄奨励委員會の答申に基き三百六十億圓とすることに閣議に於て決定せられた (八七四三)

八八九六 國産原料に依るアルミナ買上價格引上 國産原料に依るアルミナの價格は水

トキサイトを原料とするアルミナに比較して数倍の高値を以て帝國輕金屬統制會社を
して一括買上げしめることに商議に於て決定した

(五二九九)

八八九七 米機ラバウル及カビエンに來襲 我海軍航空部隊に陸海軍地上部隊は來襲の米

機百六十機を邀撃其四十一機（内不羅實七）を撃墜した、我方の損害未詳還八機

朝ニユ一・アイルランド島カビエンに敵機爆百十七機が來襲同地我守備隊は之と交戦撃退

した

（八八八五）

八八九八 我陸軍航空部隊丹竹襲撃 帝國陸軍航空部隊は午後戦爆連合の大編隊を以て廣西

省丹竹飛行場を襲撃滑走路及軍事施設を爆碎した

（八二四一）

八八九九 ロンドン空襲 獨軍當局の發表に依れば敵百機からなる獨爆撃機隊は午後九時か

ら一時間に亘りロンドン市に集中爆撃を加へ市内數箇所到大火災を生ぜしめた、獨軍の損

害は未詳還八機であつた

（八八七一）

八九〇〇 ローマ空襲 反樞輪軍爆撃機隊は夜ローマ市を爆撃した

（八八八七）

八九〇一 米國船員喪失數 米政府は一九四一年九月二十七日以來一九四四年二月一日迄の

米國船舶の船員喪失數は次の如く六千五百一名である旨發表した

死者六八四 行方不明兵二五二 俘虜五六五 計六五〇一

尙本年一月中の航空機に依る船舶被害に伴ふ船員喪失數は死者二三、行方不明八七、計一

一〇である（七八八六）

八九〇二 米艦逐艦進水 米國內の造船所で十二日及本日の兩日に驅逐艦一隻及護送用驅逐

機九機が送來した

(八八八八)

八九〇三 米一九四四年の飛行機生産計畫。米戰時生産局次長キートンは、一九四三年に引渡を完了した飛行機数は八萬六千機であつたが一九四四年には十萬機以上の引渡を行はねばならない、しかも本年製作豫定の飛行機は平均重量一萬封度となつて居り一九四三年の平均重量は八千六百封度であつた、斯くて機数及機體重量双方を眺み合せて一九四四年には一九四三年より凡そ四〇%の増産を行ふ計畫である旨を述べた

(八七六七)

八九〇四 コスタ・リカに於る大統領選挙。コスタ・リカ(八六三九)に於て大統領選挙が施行せられ自由黨のテオドレ・ピカドが大統領に當選した

(七二七一)

二月十四日 月曜日

八九〇五 米機ラパウル及ウエワタ・ブイツに來襲。米機二百十八機ラパウルに來襲我海軍航空部隊並に陸海軍地上部隊は之を邀撃其三機を撃墜した、我方の損害未歸還一機

米機戰爆連合九十機午前九時ウエワタ・ブイツの我地區に來襲我陸軍航空部隊並に地上防空部隊は之を邀撃空中戦に於て戰爆各四機計八機を對空砲火を以て撃墜機十三機戰闘機一機を撃墜した、我方の損害は未歸還二機

(八八九七)

八九〇六 獨軍ルガ撤退 獨總統大本營は北部戰線の獨軍がレニングラード南方百三十

のルガ市を撤退した旨發表した

(八八三〇)

八九〇七 英艦喪失 英海軍省は潜水艦シムソン號が豫定時間を過ぎても歸還せず露沈さ

したものと推定される旨發表した

(八六八七)

八九〇八 佛ナントに於る空襲被害 佛政府當局は佛西部のナントに於る反樞軸空軍の盲

爆に因る一九四三年六月以來の被害高を次の如く發表した

死者二千

負傷者三千以上

倒壊家屋二千五百

(八八一〇)

被害家屋三千五百以上

八九〇九 米飛行機生産所要時間 米戰時生産局長チャールズ・ウィルソンは、軍用機

生産に大量生産方法が徹底的に採用された結果飛行機の生産時間は九〇%縮減された、

即ち初期の戦闘機一機の生産時間は十五萬七千勞働時だったが現在では七千八百勞働時に

縮減されてゐる旨發表した

(八九〇三)

八九一〇 米共産黨のロースヴェルト支持 米國共産黨書記長アラウダはボストンに於

て演説し、反樞軸側の勝利に依り、米國の安全を確保し永續的平和を實現する唯一の方法

はロースヴェルトを重ねて大統領に選出しテヘラン會談の決定を實行に移さしめるに

る旨を述べた

(八六一九)

八九一 米エチオピアに使節團派遣 米外國經濟院は、米國政府はエチオピア政府の依頼に依り農、鐵、工業其他の専門家から或る使節團を近く同國に派遣することとなつた旨發表した (八二四五)

八九一二 濠洲に於る炭坑罷業 濠洲ニュー・サウスウエールズ州の十二箇所の炭坑夫三千五百名が罷業を開始した (七六三七)

八九一三 價格形成中央委員會總會開催 物價行政の簡素強力化に伴ひ過般改組された價格形成中央委員會の改組後初の總會が午後農相官邸に於て開催され會長山崎農相の挨拶があつた (五二六四)

訂正 八八〇四號を左記の通り訂正します

八八〇四 西亞に於る米の油田開發計畫 米内務長官イツキースは台米國石油貯藏會社總裁の資格に於て、米政府とアラビア・アメリカ石油會社（加州スタンダード石油會社所屬）並にガルフ穿鑿會社（ガルフ石油會社系）との間に米國政府に一億三千萬弗の資金を以てペルシヤ灣から地中海東海岸に至る送油管の敷設を許容する趣旨の協定が調印された旨及石は米陸海軍用に恒久的に百萬バレルの石油貯藏を圖る目的に出たものであつて石油開發がサウヂ・アラビア國內に於て行はれる關係上同國王のみの承認を要する譯である、送油管の敷設及維持は米政府に依り設立された石油貯藏會社が米政府の監督下に於て之に當るのであるが關係石油會社は他の業者をして該送油管

に参加せしむる義務を負ふてゐる、本計畫は戦後に於る集團保障維持の爲米陸海軍に過
切な石油の供給を確保せんが爲である旨を發表した

昭和十九年二月十五日—二十一日

(152)

二月八日 火曜日

補遺 八九一四 第十世班禪喇嘛即位 當年七歳の第十世班禪喇嘛が西藏に於て重慶政
權代表立會の下に即位した (八九〇八)

二月十三日 日曜日

補遺 八九一五 獨佛南海岸に軍政施行 佛情報省は、佛駐屯獨軍司令部は佛地中海岸
の防備を強化し獨軍の安全を保障するため十五日から佛南海岸一帯を軍政下に
置く旨佛政府に通告し來つたことを發表した (八九〇八)

二月十四日 月曜日

補遺 八九一六 英空軍ハンメルフェスト港襲撃 英空軍は夜ノールウェー最北部のハ
ンメルフェスト港 Hammerfest を爆撃沿岸防備艇二隻が撃沈されたが軍事施
設には被害はなかつた (八九〇〇)

補遣 八九一七 英陸軍異動 英陸軍省は左記の如くロンドン地區防衛司令官其他の更

送を發令した

イラン及イラク駐屯英第十軍司令官 陸軍中將アーサー・スミス

前ロンドン地區防衛司令官

英東部軍司令官

陸軍中將ケネス・アンダーソン

前英第一軍司令官

英南部軍司令官

陸軍中將ウヰリアム・モルガン

前英東部軍司令官

ロンドン地區防衛司令官

陸軍中將ヘンリー・ロイド

前英南部軍司令官

(八四一九)

補遣

八九一八 アルゼンチンに於る政變

リスボン發同盟電に依ればアルゼンチン外

相ヒルベルトがトキニダツト島沖に於て目國船が撃沈されたとの報道に按し本

日對樞軸國宣戰案を閣議に提出するに決定せるを聞知したアルゼンチン軍新將

校團は一萬以上のアルゼンチン軍をアエノスアイレス市近郊に配置し將校團は

外務省を乗取てヒルベルト外相を追出した

(八八九二)

××

××

××

××

二月十五日 火曜日

(134)

八九一九 我海軍航空部隊のブーゲンビル島西方に於る戦果 帝國海軍航空部隊は十四日深更より本日未明に亘りブーゲンビル島西方海面を北上中の敵輸送船團を攻撃し特種大型輸送船一隻を撃沈、同中型輸送船二隻を大破炎上せしめ大型巡洋艦一隻、巡洋艦一隻、驅逐艦一隻、輸送船一隻を撃破した外艦種未詳の數隻を爆破炎上せしめた、我方の損害未歸還五機 (八六二七)

八九二〇 米機ラバウルに來襲 朝來米戦爆連合五十二機がラバウルに來襲我海軍航空部隊並に地上部隊は之を邀撃戦爆計九機を撃墜爆撃機六機を撃破した、我方未歸還二機を出した外地上被害なし

敵戦爆連合延二百十九機がニューアイルランド島カピエンに來襲所在の我守備隊は之を邀撃其十二機を撃墜した、我方の損害輕微 (八九〇五)

八九二一 ベルリン空襲 英空軍省發表に依れば英空軍爆撃機隊はベルリンに對し一月

三十日以來最初の大規模爆撃を行ひ四十三機を喪失した、尙獨逸當局の發表に依れば獨逸戰鬥機隊は右空襲に於て英空軍四發爆撃機五十一機を撃墜した (八八七二)

八九二二 伊戦線に於る米軍の損害 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於てイタリア戦線に於る米軍の損害は次の如く二萬八千六百四十一名に達する旨發表した

戦死四一五八 負傷一八〇五四 行方不明六四二九 計二八、六四一

(八八八六)

八九二三 英の西佛兩海岸に於る機雷敷設 英海軍省はスペイン及フランス兩國海岸一

帶七千裡に亘り機雷を敷設した旨發表した (八五六五)

八九二四 米海軍追加豫算案上院可決 米上院は總額一億三千万弗の海軍追加豫算案を

可決した、右は主として太平洋岸に於る海軍諸施設改善費に充當されるものである (八七一六)

八九二五 一九四三年中に於る米航空機乗員養成數 米陸軍省は航空部隊訓練所が一九

四三年中に十六萬五千名の航空機乗員を養成した旨發表した (八六五五)

八九二六 亞五相辭職 アルゼンチン外相ヒルベルト、内相ベルリンヘル、法相兼文相

ザワイリア、農相マツソン及公共事業相ピスタリニは辭職した (八九一八)

八九二七 鈴木行政査察使博多看 鈴木行政査察使は石炭の輸送を中心とする問題に就

て諸般の事項を處理する爲博多看に到着した (八〇三三)

二月十六日 水曜日

八九二八 米機ラパウルに來襲 米戦爆連合四十九機が朝ラパウルに來襲したが我海軍

航空部隊並に地上部隊の邀撃に敵は遁走我方は敵B24一機を撃破した、地上に被害な

し 米機戦爆連合約百機が午前ニュー・アイランド島カピエンに來襲向地我守備隊は之

と交戦撃退した、我方の損害軽微

(八九二〇)

八九二九 ベルリン大空襲

四發重爆撃機を主力とする千機以上の英空軍大編隊が十五

日夜より本日朝に亘りベルリンを襲撃し爆弾焼夷弾等二千五百噸を投下したが獨軍防衛部隊は敵爆撃機五十一機を撃墜した

(八九二一)

八九三〇 米軍伊ベネテイクチーネ僧院砲爆撃

獨軍當局の發表に依れば十五日約二日

機より成る四發重爆撃機の數編隊はカツシノ西方のベネテイクチーネ Benedictine 僧院を爆撃した後米軍の重砲陣が同僧院を砲撃僧院は全壊した、米軍は本日朝再び砲撃を開始した、被害地よりの第一報に依れば百名以上の僧侶及イタリイ避難民が同僧院の下敷となつて惨死した

(八七五四)

八九三一 イタリイ戦線に於る英陸軍の損害

英首相チャーチルは下院に於て昨年九月

三日のイタリイ上陸以來本年二月十二日迄のイタリイ戦線に於る英軍並に各自治領軍の損害は次の如く總計三萬六千六百二十六名に上る旨發表した

戦死七、六三五 戦傷二、三、二八三 行方不明五、七〇八 計三、六、六二六

(七九九三)

八九三二 獨米官民交換船ニユーヨーク出帆

獨米官民交換船グリツプスホルムは

數百名の抑留獨官民を乗せてニユーヨーク港を出帆交換地ホルトガルに向つた

(七八一七)

八九三三 チアラルター總督更迭 英北部軍司令官中將トーマス・イーストウッドはチ

アラルター總督に任命された

(二九三〇)

八九三四 米艦進水 米政府當局は驅逐艦一隻進水した旨發表した

(八九〇二)

八九三五 米來年度海軍豫算案 總額三百七億八千九百八十一萬九千弗に上る一九四四

一四五年度米海軍豫算案が議會に提出された、其主要項目は艦艇建造補給費八十億八千四百萬弗、航空關係費四十億二千三百萬弗等である

(八九二四)

八九三六 石油資源に關する米軍需調査委員會報告 米上院議員トルーマン Harry Truman

を委員長とする軍需調査委員會は、米國油田の生命は今後十四年であると言はれる状態にあるに鑑み米國は國外に新たな石油資源を確保する必要がある、米國は反樞軸諸國家就中英國に對して石油資源の提供を求め延いて世界石油資源の各國割當に就て國際協定を締結することが重要である旨の報告を議會に提出した

(八八〇四)

八九三七 亞外相後任々命 アルゼンチン政府は海相スエイロが暫定的に外相兼任を命

ぜられフェノスアイレス大學教授シルフェラ博士が法相兼文相に任せられた旨發表した

(八九二六)

八九三八 重慶政權民國三十三年度豫算 重慶放送に依れば重慶政權財政部は本日の會

議に於て同政權の三十三年度豫算を二百億元に決定した

(八九一四)

八九三九 改正四間接稅施行 第八十四帝國議會に於て成立した所得稅法外二十九法律
中改正法律案が十五日公布せられうも物品稅、遊興飲食稅、入場稅、特別行爲稅の四
間接稅の改正規定及右四稅に關する改正間接國稅犯則者處分法が本日施行せられた

(八八九五)

二月十七日 木曜日

八九四〇 敵機動部隊のトラツク諸島空襲 朝來敵は有力なる機動部隊を以てトラツク
諸島に反覆空襲し來り同方面帝國陸海軍部隊は之を邀撃激戰を開始した

(八八五三)

八九四一 米機ラバワルに來襲 朝ラバワルに敵戰爆連台百四十三機が來襲我海軍航空
部隊並に陸海軍地上部隊は之を邀撃共二十四機を撃墜した

(八九二八)

八九四二 ヘルシンキ空襲 フインランド政府發表に依れば十六日午後八時三十分から
本日午前五時三十分に至り四百機以上から成るソ聯空軍はヘルシンキ市並に其周邊地
區を爆撃し諸所に火災を發生せしめ建築物が破壊され市民の間に死者十二名負傷者十
四名を出した、フインランド軍高射砲隊は敵機八機を撃墜した、ソ聯空軍は更にタン
ペレ市其他フインランド西南部及南部地方をも爆撃した

(八九一六)

八九四三 敵機カステロ・カンドルフオ爆撃 反樞軸空軍はロスマ女王離宮所在地カス

テロ・ガンドルフオを襲撃避難の婦女子を満載した輸送船を爆撃多数の死傷者を出さしめた

(159)

八九四四 歐洲水域に於る米輸送船撃沈 米陸軍省は、米軍輸送船一隻が夜間歐洲水域に於て獨軍の爲撃沈され乗組將兵の中一千名が溺死した旨發表した(八九三〇)

八九四五 西南太平洋戦線に於る米軍の損害 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て西南太平洋戦域アラウエ、ダロスタール、サイドールの各地に於る米軍の損害は次の如く千百三十三名に達する旨發表した

戦死四六五 負傷一、一五六 行方不明一二 計一、六三三

八九四六 米第九航空部隊英本國に移駐 反樞軸軍司令部は、アフリカ北部の基地より行動してゐた米第九航空部隊が英本國に移駐した旨發表した (八九二二)

八九四七 萬國赤十字社取扱書信並に電報數 萬國赤十字社當局は、萬國赤十字社が一年十二月三十一日迄に五千九百五十一萬六千五百二十三通の書信を取扱つた、同期間に於て處理した電報數は二十四萬六千七百七十七通に達し一九四三年中のみに於て十四萬七千四百五十八通を處理した旨發表した (七四二四)

八九四八 米陸軍擴充計畫完了 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て七百七十萬を目標とする陸軍の擴充計畫は殆ど完了した旨言明した (八八二〇)

(七四七二)

八九四九 米軍内に於る黒人數

米陸海軍兩省は米軍内に左記の如く黒人五十七萬七千九百三十二名を使用してゐる旨及海外に派遣された黒人の陸海軍人並に看護婦は十五萬三千名である旨發表した

陸軍 歩兵五七三二三 沿岸砲隊及野砲隊 五八三二八

工兵 九七五〇 英 他三六六九〇三

計四九二、三〇四

海軍 直接海軍に勤務する人員七四〇一三 沿岸防備隊三一五

海兵隊八、五〇〇 計八八、五六八

總計 五七七、九三二

八九五〇 一月中に於る米父親召集數 米選拔徴兵局長官ハ―シエ―は、一月中に一萬

五千乃至一萬七千名の父親が米軍に召集された旨發表した (八二〇六)

八九五一 アイゼンハウアー英皇帝に謁見 歐洲侵入反艦輔軍最高指揮官アイゼンハウ

アーはバツキンガム宮に於て英皇帝デヨ―チ六世に謁見した (八五四二)

八九五二 米一月中の戦費 米戦時生産局は一月中の戦費が七十四億一千六百萬弗に達

し昨年十二月に比較して四億七千五百萬弗増加した旨發表した (七九四五)

八九五三 米新超爆撃機ボ―イイングB²⁹の性能 ストツクホルム愛朝日特電に依れば本

國新超爆撃機ボ―イイングB²⁹は最近超空の要塞を名附けられ世界最大最長距離四發爆

撃機で八噸の爆弾を積んで千哩、三噸の爆弾を積んで三千哩飛ぶことが出来る、翼長は百四十一呎でライト二千馬力の機関を有しプロペラは三翅、高度二萬五千呎で毎時二百五十哩の巡航速度が出る、各車輪に二重輪帯のある三輪の着陸装置を有し全荷重は五十乃至六十噸で口径五十耗の機銃砲を備へ尖端には鰐形銃座、下部には球形銃座、胴體と尾部にも夫々一個の銃座を有してゐる (八八七八)

八九五四 米大統領食糧助成金支出禁止法案は本日下院に於て絶對多數を以て可決され白晝館に同付されたが米大統領は同法案を拒否し再び下院に同付した (八八六三)

八九五五 米大使西外相會談 駐西米大使カルトン・ヘイズ Carlton J. H. Hayes は正午スペイン外相フランシスコ・ホルタナ Francisco Jordana を訪問二時間餘に亘り重要會談を遂げ午後再び外相を訪問して約一時間會談した (八八九四)

八九五六 米對西石油輸出停止延期 ストックホルム發同盟電に依れば米政府はスペイン向石油輸出停止(八七〇三)を一箇月延期した (八九五五)

八九五七 米國ドミニカ共和國經濟協定請印 米國及ドミニカ共和國兩國政府間にドミニカ共和國政府は同國の重要食糧品數種の全餘剩生産額を米國に輸出する趣旨の通商協定が請印された旨兩國政府から共同發表された、同協定の有效期間は一九四五年六月末迄である (八三九三)

八九五八 一九四〇年以來の米人口減少數

三年十一月に至る間に米國人口は約四百萬全人口の三・一%を減少した旨及右は召集

及非戦闘員の戦闘地區への移任に起因する旨發表した

八九五九 蒙疆銀行の對滿洲中央銀行信用供與限度引上 (六三〇三)

銀行は滿洲中央銀行に對する信用供與限度を九百萬圓に増額することとなり近く兩銀

行間に於て右に關する協定が調印される筈である

(五九四五)

八九六〇 我軍航空部隊は連日飛行場襲撃 我軍航空部隊は午後襲撃隊を以て建威

飛行場に連日飛走隊を襲撃した (七二四九)

八九六一 米機ラバウルに襲撃 戦艦連合米機百六十機が午前ラバウルに襲撃したが同

方面守備の我軍海軍部隊は之を遠距離射撃七機を撃墜した、我方の偵察飛行機三機も

地上に墜破な損害があつた (八二四一)

八九六二 米機北部佛印に襲撃 左支米空軍の北部佛印襲撃隊は一日より本日迄に二十

八回延焼敵八十三機以上に及び、敵機も逐次南下の傾向を示してゐる (八〇九五)

八九六三 トラツタ島米攻撃軍指揮官 米海軍長官ブツクスは米中部太平洋艦隊司令官

大尉レイモンド・スブルアンス Raymond A. Spruance がトラツタ島攻撃に當つた米

機動部隊を指揮してゐる旨發表した (八九四〇)

八九六四 ロンドン空襲 ドイツ日曜紙の報道に依れば本日の勿空軍ロンドン襲撃は一

九四一年以來最も決定的な爆撃で同市内各所に火災を生ぜしめ多数の建築物が破壊さ

れた (八八九九)

八九六五 ヴイテブスタ地区赤軍の攻勢終結 D N B 軍事記者ハンメル大佐の中等戦線

の戦況に關する所報に依れば、赤軍は過去二週歩兵五十三個師、戦車十三個旅より

成る六個軍團を以てヴイテブスタ地区に於て獨逸軍陣地の突破を圖つたが獨逸軍は赤軍の

攻勢を撃破捕虜千名、撃破戦車三十六輛、火砲九十一門、小型歩兵火器百餘挺の損害

を生ぜしめヴイテブスタ地区に於る赤軍の攻勢は全く終結した (八七一)

八九六六 獨逸スタトラーヤ・ルツ守備隊 獨逸統大本營は獨逸はスタトラーヤ・ルツ守備

を含むイルメン湖南方の突出部から撤退した旨發表した

(八九〇六)

八九六七　ローマ空襲　反樞軸爆撃機隊は午前二時ローマ市を直撃した(八九四三)

八九六八　ソ聯赤軍最高司令官代理任命　ソ聯情報局はジュエーコフ元帥が赤軍最高司令官代理に任命され直接スターリン元帥を輔佐することとなった旨發表した

(八八三九)

八九六九　ソ聯アイゼンハウアーに勳章授與　ソ聯最高會議幹部會は歐洲侵入反樞軸軍

最高指揮官アイゼンハウアーに對しスワオロフ一級勳章を授與した旨發表した

(八九五一)

八九七〇　法王カステロ・カンドルフオに對し英國に通告　法王ピオ十三世は英國政府

に、カステロ・カンドルフオ陸軍にはドイツ軍人は勿論軍需品の人間は一人も居らざる旨を通告した

(八九四三)

八九七一　米大統領の食糧助成金支出禁止法案拒否確定　白室館より下院に同付された

食糧助成金支出禁止法案を暴徒に附した結果僅かの差にて拒否権が行使して同法案は

(八九五四)

自動的に否決せられた

八九七二　英北與南航空路再開　スエーデン政府はスエーデンに依りスエーデン英國

間の航空便を再開する旨發表した

八九七三　丁芬經濟協定調印　デンマーク及フィンランド兩國政府間に於て協定、丁

六、乳製品、砂糖、ワツシニ、染料等約三千六百萬タロトノの陸海軍に供する類
第三箇年の暫定取極が調印せられた

二月十九日 土曜日

八九七四 米原ラパウルに來襲 米機隊は連合百七十機が午間ラパウルに來襲我陸海軍
部隊は之を退却せしめ計三十一機を撃墜八機を撃破した、我方の損害は八機であつた

(八九六一)

八九七五 ロンドンに空襲 獨軍官局發表に依れば獨空軍は早朝大幸してロンドンを襲撃

したが獨空軍の損害は未詳遺機五機であつた、ベルリン發同監視に依れば右ロンドン
空襲は一九四一年以來最大のものであつて獨空軍は照明弾及地上に投下した特殊の標
識彈を以て燃焼區劃を明示した上凡ゆる角度及高度から該目標に向つて突入し特殊の
強力爆弾及高圧燃焼炎を投下しロンドンの各所に大火災を生ぜしめた (八九六四)

八九七六 英空軍機隊は夜ツイブ
ツイブ市を襲撃二千三百機以上の高圧燃焼弾及焼夷弾を投下したが獨軍の攻撃に遭ひ七

(八九二九)

十九機を撃滅した

八九七七 伊市民アンチオ橋頭堡附近より立退
リスボン發同監視に依れば反植強軍は

十七日以來一萬八千名に上るイタリヤ市民をアンチオ橋頭堡附近より強制的に立退か
せた

(八八五六)

八九七八 開戦以來の米海軍損害 米海軍省は開戦以來の米海軍、海兵隊及沿岸防備隊

の死傷者数は次の如く三萬九千四百七十三名に達する旨發表した

戦死一六三四三 戦傷 九三〇八 行方不明九四〇四

俘虜 四一八 計 三九四七三 (八九四五)

八九七九 伊戦線に於る加軍の損害 カナダ政府はシチリア及イタリイ戦線に於る一月

八日迄のカナダ軍の損害は次の如く六千三百三十四名に達する旨發表した

戦死者一、三五四 負傷者四六六五 俘虜八六

行方不明 二二九 計 六三三四 (八〇三七)

八九八〇 佛地中海沿岸を被占領地區に編入 佛政府はペタン主席司會の下に閣議を會

議し佛地中海沿岸を被占領地區に編入する旨を決定した (八九一三)

八九八一 存心救恤品配布に關する高國赤十字社國際委員會の謝日感謝 高國赤十字社

國際委員會は二月十日附を以て、日本赤十字社の盡力に依り帝亞瓦に送られた救恤

品の大部分がタリスマス前に各存心抑留所に配布された旨の報告を毎日高國赤十字社

國際委員會代表より受信して尋常に善んである旨の報告を日本赤十字社に寄せた (八八七三)

八九八二 米陸軍十萬人の學生徵集準備開始 米陸軍省は、昨年中に於ける徴兵数の不

足を補ふ爲四月一日を期し各大學專門學校に在學中の學生十萬人を徵集する準備を講

行した旨發表した (八四四六)

八九八三 米大統領秘書任命 米白星館當局はワキリアム・デイ・ハセツトが大統領秘書

警に任命された旨發表した

八九八四 米テキサス州に於る送油管破裂 テキサス州からニュー・ジャーンに至る大

送油管がテキサス州ゲイツビルに於て破裂し百萬ガロン以上の石油が流出した

(六五五〇)

八九八五 亞大統領辭職 アルゼンチン大統領ラミレスは辭職し大審院長ニコラ・レベ

トが後任大統領に就任した

(八九三七)

八九八六 駐ソ瑞典公使歸國 スエーデン外務省發表に依れば駐ソ公使アツサルソンは

本國に歸着した

(八八九二)

八九八七 東條内閣改組 加藤蔵相、山崎農相、八田運輸通信相は依願免官となり其

後任は左の通午後九時三十分夫々親任式が執行せられた

大藏 石渡駐太郎 農商 内田信也 運輸通信 五島慶太

(七八二七)

八九八八 ロンドン大空襲 獨空軍は夜大編隊を以て約三十分に亘りロンドン地區を爆撃した、右爆撃に参加した一獨軍將校の談話に依れば獨軍爆撃機隊は東方及東南方より二手に分れドーヴァー海峡を越えロンドン市上空に侵入し終始編隊を崩さず集中爆撃を続け同市内重要目標に對し數千の爆弾と數十萬個の焼夷彈を投下した

(八九七五)

八九八九 米機獨中部爆撃 米軍第八航空隊は白晝ドイツ中部のライプツヒ、オスヘルスレーベン、ベルスブルク、ブルンスウイクゴタ等の各都市を爆撃した、尙右空襲参加機数は二千機、搭乗兵員は歩兵一箇師團以上に相當するものであつた、英空軍省發表に依れば米空軍は右空襲に於て重爆撃機二十二機、戦闘機四計二十六機を喪失した

(八九七六)

八九九〇 獨口メル元帥佛北岸視察 ベルリン發同盟電に依れば獨歐洲防衛司令官口メル元帥は數日前フランス北岸ノルマディ地方の要塞施設を視察した

(八三六二)

八九九一 獨軍の佛占領地に於るテロリスト處刑 獨軍當局は、獨軍が佛占領地に於て現在迄に逮捕したテロリストは百八名で中五十八名はユダヤ人、二十九名は外國人である、獨軍軍法會議は右の中二十三名に英空軍の投下した武器を隠匿してゐ

た廉で死刑を宣言した旨發表した

(八九八〇)

八九九二 米航空母艦及輕巡洋艦進水

米海軍省は東部海岸の某造船所で輕巡洋艦オ

クラホマ・シテイ號が進水した旨發表した、西部海岸の造船所では航空母艦フリス

ク號が進水した

(八九三三)

八九九三 ソ波問題に關する米大統領の言明

口大統領は一下院議員の質問に應へて、

ソ聯が居中調停に關する米國側の申入を拒絶したことは甚だ遺憾で米國としては無

論問題の成行に就て至大の關心を有してゐる旨を述べた

(八六七三)

八九九四 反樞軸救済復興局長官代理任命

反樞軸救済復興局長官レーマンはソ

聯代表ニコライ・イヴァノヴィッチ・フェノフを在ロンドン同局歐洲地區物産補給

事務局の長官代理に任命した旨發表した

(八二一四)

八九九五 英反樞軸救済復興局長委員部英代表任命

英政府は米國駐劄英公使デ

ーヂ・サンブソン George Sampson を反樞軸救済復興局長委員部英代表に任命

した旨發表した

(八九九四)

八九九六 英米に於る流行性感冒患者數

リスボン發同盟電に依れば昨年十一月から

本年一月迄の英國に於る流行性感冒患者數は一千八十八萬人に對し内約二百萬人は肺

炎を併發した、昨年十一月中旬から本年一月末迄に英國内百二十六の大都市に於る

感冒に因る死者は五千三百一人に達した、米國(八一八六)に於ては一月上旬迄に

全人口の一割三分約一千七百萬人が流行性感冒に罹った

八九九七 葡澳門總督に紙幣發行權賦與 香港發同盟軍に依れば最近澳門政府は澳門

總督が本國政府よりナシヨナル・ウルトラマリノ銀行をして一千萬弗を限度として

紙幣を發行せしむる權限を賦與された旨發表した (五二七三)

八九九八 昨年度に於る滿洲國公債消化狀況 新京發同盟軍に依れば康徳十年度(自

一月至十二月)に於る滿洲國政府發行公債四億六百萬圓に對する消化額は四億三千

八百萬圓に達し消化率は一〇〇%を超過した (八四五七)

二月二十一日 月曜日

八九九九 我軍トラツク諸馬來侵の米軍撤退 トラツク諸馬來侵せる敵機動部隊は

同方面帝國陸海軍部隊に依り撃退した、本戦闘に於て敵巡洋艦二隻(内一隻は戦艦

であるかも知れない)撃沈、航空母艦一隻及軍艦(種類未詳)一隻撃破、飛行機五

十四機以上を撃墜したが我方も亦巡洋艦二隻、驅逐艦三隻、輕巡洋艦十三隻、飛行機

百二十機を失つた外地土施設にも若干の損害があつた旨大本營から發表せられた

(八九六三)

九〇〇〇 獨軍北部戰線敵地區に於て撤退 獨總統大本營は、北部戰線の獨軍は戰地

區に於て計画的撤退を行つた旨發表した (八九六六)

九〇〇一 ロンドン空襲 獨軍當局の發表に依れば獨空軍重爆撃機隊は夜イングランド東南部及ロンドン地區を爆撃多大の成功を収めたが獨空軍の損害は未詳一機であつた (八九八八)

九〇〇二 米機ベルリン襲撃 米軍第八航空部隊司令部發表に依れば同軍爆撃機二千機の大編隊は午前ドイツ西南部の諸軍事施設を襲撃千噸以上の爆彈を投下したが獨空軍の反撃を受けて爆撃機十五戦機五計二十機を喪失した (八九八九)

九〇〇三 赤軍フィンランド空襲 フィンランド軍當局の發表に依れば赤軍爆撃機隊は夜フィンランド西北部ボスニア灣沿岸のオウル市を盲爆した (八九四二)

九〇〇四 米大西洋方面艦隊司令官任命 米海軍省は、歐洲侵攻作戦準備として大西洋方面水陸兩用部隊司令官少將アラン・タークを英國艦隊総司令官に、カザアランの海軍基地司令官少將ジョン・ホールに少將ジョン・ウキルクスを夫々機動部隊司令官に任命した旨發表した (八八六〇)

九〇〇五 米ロス・アンヂェルス市發着所能業 米ロス・アンヂェルス市長は、市發着所及水道會社の労働者二千三百名が罷業を開始した結果當市の八重要軍需工場は操業不能に陥り市内七萬五千世帯は過去二十四時間完全に電力供給を断たれ政府當局が調停に際出すこととなつた旨言明した (八七九二)

九〇〇六 獨スライマン將軍戦死 獨軍當局はチエルカツスイ Cherkassy 西方に

於て赤軍の重圍を脱出味方主力合流に成功した獨軍司令官スタインマン Steinhmann

將軍は戰場中戰死した旨發表した

九〇〇七 獨總統赤軍包圍脱出三司令官に勳章授與 ヒットラー總統はチエルカツス

イ西方に於て赤軍の包圍脱出作戰に成功したベルギー義勇軍總司令レオン・デグレ
ル大尉及ヘルベルト・ギレ、テオバルト・リープ兩中將の三名に夫々勳章を授與し
た

九〇〇八 ソ聯大使ロムイコは白聖館に口大統領を訪

問會談した

九〇〇九 米餘剩軍需工場處分局設置 口大統領は大統領令を以て餘剩軍需工場處分

局を設置し商務次官ウキル・クレイトンが局長に任命せられた

九〇一〇 參謀總長前に軍令部總長更迭 杉山參謀總長前に永野軍令部總長は本職を

免ぜられ其後任が左の如く午後二時三十分夫々親補式が執行せられた

參謀總長 東條首相 軍令部總長 嶋田海相

(八九八七)

九〇一一 大東亞戰爭公債發行 大東亞戰爭公債一億八千四百萬圓が日本銀行引受に

依り發行せられた

(八七五三)

昭和十九年二月二十二日—二十八日

二月六日 日曜日

補遺 九〇一二 クエゼリン 竝にルオット兩島守備部隊全員戦死 クエゼリン 島

Kuezyerin 守備部隊 指揮官海軍少將秋山門造竝にルオット島 守備部

隊指揮官海軍少將山田道行麾下の兩島守備の約四千五百名の帝國陸海軍部隊は
軍屬約二千名と共に一月三十日以降來襲せる敵大機動部隊と激戦を交へ二月一
日敵約二箇師團の上陸を見るや之を返撃敵に多大の損害を與へたるが本日最後
の突撃を行ひ全員戦死を遂げた (八七八六)

二月十八日 金曜日

補遺 九〇一三 米農業従業者召集 米徴兵局長官ハ―シエ―は米軍が六月一日迄に召

集する百二十萬人の必要人員を補ふ爲目下兵役免除となつてゐる百七十萬人の
農業従業者の召集を直ちに開始しなければならぬ旨言明した(四九六〇)

二月二十一日 月曜日

補遺 九〇一四 米機ラバウルに來襲 敵戦爆連合百三十九機が午前二回に亘りラバウ

ルに來襲所在の我部隊は其六機を撃墜四機を撃破した (八九七四)

補遺 九〇一五 敵機北千島に來襲 午前一時頃敵機數機北千島に來襲し爆弾數發を投

下した、我方損害なし (八八二四)

××

××

××

××

二月二十二日 火曜日

九〇一六 帝國海軍航空部隊のマリアナ諸島東方に於る米艦隊襲撃 午前航空母艦十數

隻、戦艦八隻を基幹とする敵機動部隊がマリアナ諸島東方海面に出現帝國海軍航空部

隊は夜之に對し攻撃を開始した (八九九九)

九〇一七 敵のラバウル空襲並にカビエン砲撃 米戦爆連合百八十七機が朝三回に亘り

ラバウルに來襲所在の我部隊は之を過半数の損傷を撃墜三機を撃破した

夜カビエン沖に敵機逐次三隻が現はれ四上を砲撃せるも我守備隊は之と交戦して

の一隻に大火災を生ぜしめ撃退した、我方損害なし (九〇一四)

九〇一八 ロンドン爆撃

獨軍當局の言明に依れば獨軍は數百機からなる爆撃隊の大編隊を以て夕刻ロンドンを攻撃殆ど全市に亘り甚大な損害を與へ特に東部諸地域の損害は甚大で所々に大火災を發生せしめた (九〇〇一)

九〇一九 獨軍ホルム及クリヴオイ・ログ兩市撤退

獨軍大本營は、獨軍はヴエリキエ・ルキ北方九十キロのホルム市及クリヴオイ・ログ市 Krivoi Rog から撤退した旨發表した (九〇〇〇)

九〇二〇 敵機アルプス地區及獨中部地區爆撃

獨軍當局發表に依れば敵空軍は朝南部ドイツに突襲ダニューブスアルプス地區を爆撃したが獨戦闘機隊の追撃に遭遇し何れも所期の目標に達し待す逸走した

反樞軸軍司令部は米第八、第十五航空隊爆撃機隊が白晝ドイツ中部のレーゲンスブルグ其他の諸都市を爆撃爆撃機空の要路四十一、爆撃機二十、戦闘機十三計七十四機を喪失した旨發表した、獨軍當局發表に依れば右空襲に於て獨軍は米機百二十四機を撃墜した、内百一機は四發重爆撃機である (九〇〇二)

九〇二一 米軍オランダ及ベルギー空襲

獨軍當局の言明に依れば米軍マローダー爆撃機隊はオランダ並にベルギー領内各地を襲撃市民の間に多數の死傷者を出さしめた (九〇〇三)

九〇二二 敵機ザグレブ市爆撃

反樞軸軍爆撃機隊は午前ザグレブ Zagreb (アウラム

市上空に飛來し高性能爆弾を投下し市民の間に死傷者を生ぜしめた

(156)

九〇二三 ソ聯空軍ストックホルム市爆撃

(九〇二一)

ストラエングエラ市を爆撃した

ソ聯空軍は夜ストックホルム市及同市南方

九〇二四 ソ聯空軍芬蘭襲撃

(九〇二二)

南端タルク HORGRE

(オーホ) 港を攻撃し軍事竝に工業目標に爆撃を加へた

九〇二五 一九四三年中に於る英米空軍の損害

(九〇二三)

月一日から十二月三十一日迄に獨本土竝に歐洲北部上空に於て英空軍は二千三百六十

九機、米軍航空部隊は九百九十七機を喪失した、一九四四年一月に於る損害は夫々英

空軍三百十九機、米空軍百七十八機である旨言明した(八九七八)(八九三一)

九〇二六 米潜水艇二隻喪失

(八九三一)

を太平洋戦線で喪失した旨發表した、米海軍長官ノックスは二月上旬から中旬迄に潜水艇二隻

九〇二七 米大型巡洋艦及航空母艦進水

(八九三二)

ダがマサチユースェット洲クインシーのベスレヘム・スチール會社造船所に於て小型航

空母艦シイトコー及該送艦逐次エドワーズがヴァンクレーヴァーのヘンリー・カイザー

造船所に於て進水した

(八九九二)

九〇二八 米大統領がスターリン首相の親書接受
口大統領は記者会見に於て最近スター

リン首相から親書を受領した旨言明した
(八九九三)

九〇二九 米大統領増税法案拒否
口大統領は増税法案を拒否し同法案を戦争中に於て
公衆の爲には言へ増税案に承認を與へずして議會に返還しなればならぬことを遺憾
とする、該増税法案中には特權階級に特惠を與へる多くの規定並に悪例を殘す規定を
含んで居る、彼は議會が税法の簡易化を圖るに共に増税の目的に叶ふ新增税法案を大
至急制定せんことを要望する、議會の責任は政府に對して戦時に必要な稅收を確保し
經濟安定工作に財政的支持を與へ特權階級の活動を抑へ同時に數百萬に達する少額納
稅者に眞に簡單な税法を制定するにある旨の演説と共に議會に同付した
(八八一四)

九〇三〇 米炭坑罷業
ペンシルヴェニア州シエナンドア地區の無煙炭坑夫は該て抗
夫の罷業問題に就て會社當局と對立してゐたが遂に八族坑約八千の坑夫は罷業を開始
した
(八七五二)

九〇三一 加濠間に軍事委員會設置
カナダ國防省發表に依ればカナダと濠洲軍司令部
との間に太平洋戰線問題に付軍事委員會設置に關する協定が調印された

九〇三二 英首相演説
英首相チャーチルは下院に於てカイロ及びヘラン會議より歸國
後最初の演説を行ひ其中に於て、彼は歐洲に於る戦争が早急に片付くことを考へてゐない、

が對獨爆撃が敵の軍需生産力に與へた打撃は確かに甚大なものがある、西部歐洲に對する出撃は英空軍だけでも既に九十萬回に及んで居り今後は長距離爆撃機を以て西部歐洲のみならずイタリヤ基地から獨本土の深部に迄運するであらう、英米空軍は先週獨本土に對して行つた四回の大爆撃で投下した爆弾は九千噸に上つたが開戦以來の英空軍の損害は搭乗員の戦死三萬八千三百、行方不明一萬四百、飛行機の喪失は一萬機以上に達した、此空よりの打撃こそ次で来るべき大陸侵入の基礎をなすものである、英國はポーランド國境に對する保障を斷念せず問題解決のため同國の立場を支援するであらうがソ聯の要求も合理的な限界を越えぬであらうと信じてゐる、ソ聯は再び西方からの攻撃を受けないやうな保障を求めて居り彼はスターリン首相は既にポーランドがドイツから受けた損失をポーランドに償つてやることに就て意見の一致を見て居り英國としては強力且完全なポーランド新政權の成立を計るべく決意してゐる、ここに確言出来るのは英國はカイロ、テヘラン會談で到達した線から一步も逸脱してゐないといふことである旨を述べた

(八五七四)

九〇三三

佛シエルプール地區住民に立退命令

フランス政府はシエルプール地區

Cherbourg

の住民に對し特別の事件がない限り即時立退くやう指令した

(八九八〇)

九〇三四

比島政府非常時狀態宣言

比島政府はラウレル大統領の名を以て現在比島が

非常時狀態にある旨を宣言した

九〇三五

ガンデー夫人死去

(八五七六)

に於て死去した

マハトマ・ガンデー夫人カスターバイはブーナの刑務所

九〇三六

東條首相閣議席上決意披露

(四八二一)

東條首相は内閣改造後の初閣議に於て難局突破に關して重大決意を披露し、統帥と國務の緊密化こそ必勝の要訣であつて國家の存する物國民の持つ力を剩す所なく米英撃推の一線に打込むことを要望し過云の行がかりを一切白紙に還元し所信に邁進すべきである旨を述べた、尙本日閣議に於て爾今閣議は凡て宮中に於て開催することに決定した

(九〇一〇)

九〇三七 マリアナ諸島東方海面に於る帝國海軍航空部隊の戦果 帝國海軍航空部隊

は二十二日夜より本日黎明に亘りマリアナ諸島東方海面に於て敵機動部隊に反復攻撃を加へ航空母艦一隻、大型軍艦三隻（内二隻は航空母艦の尊大）を撃沈、航空母艦一隻を中破した

敵は午前延約二百機の艦載機を以てサイパン、テニヤン附近にグアム島を空襲した後東方に遁走した、我方の損害輕微

（九〇一六）

九〇三八 米機ラパウルに來襲 米機編隊五十機が晝間ラパウルに來襲所在の我部隊は之を撃墜其一機を撃墜した

（九〇一七）

九〇三九 ロンドン爆撃 獨軍當局の言明に依れば獨空軍爆撃機の大編隊はロンドンを襲撃爆撃は午後十時二十分より十一時迄中斷なしに續行された、使用機数は過去數日間に於る大規模爆撃に使用したと同数で獨空軍の損害は未詳堂一機であつた、ストツクホルム發同盟軍に依れば右空襲に因りロンドン郊外の一部は一九四一年四月以來最大の損害を受けた

（九〇一八）

九〇四〇 獨軍ロガチエフ市撤退 獨總統大本營發表に依れば獨軍は下ニエブル河中流のロガチエフ市 Rogachev を撤退した

（九〇一九）

九〇四一 米機ドイツ襲撃 獨軍當局の言明に依れば米空軍爆撃機隊は白晝東部アル

プスを越えて來襲したが獨戰闘機隊は之を邀撃其半數四十九機を墜した
反樞軸軍司令部發表に依れば米軍第十五航空部隊爆撃機隊がウィーン西方約九十五
哩のシュタイル市を爆撃した

獨軍當局の發表に依れば反樞軸空軍は晝夜に亘りドイツ各地を爆撃したが獨軍は其
百六十三機を墜した、内百四十一機は四發重爆撃機である (一九〇二〇)

九〇四二 ソ聯機芬蘭西部空襲
フィンランド軍當局發表に依れば夕刻ソ聯空軍爆撃
機隊がフィンランド西南端タルク地方を爆撃した (一九〇二四)

九〇四三 米第八航空部隊の損害
英國駐屯米第八航空部隊司令部は、同部隊が一九
四二年八月英國に於て作戰を開始して以來今日迄に爆撃機千三百三十八機を喪失し
た旨發表した (一九〇二五)

九〇四四 米兵役免除者數
米戰時動員局長官パーソンズは眞珠灣空襲以來現在迄に
陸海軍兵士百二十二萬三千六百六名が兵役免除となつた、此内七十四萬八千三十六名は
健康上の理由で、五萬二千五百四名は不具となつたためである旨發表した (一九〇四三)

九〇四五 米一月中飛行機生産高
米戰時生産局長官ネルソンは一月中の飛行機生産
高は八千七百八十九機に達した旨發表した (一九〇四九)

九〇四六 米反樞軸飛行船會社設立
リスボン發同盟黨に依れば米國デラウェア市に

反輻軸飛行船會社が設立された、同會社はグラスゴー、モスクワ、ブエノスアイレス、ケープタウン、ダカール、カルカッタ、ブリスベーン、ホノルル其他の各地を結ぶ飛行船航路を開設せんとするもので既に關係各國政府の認可を得る爲各國の航空關係機關と交渉を開始した

九〇四七 米商品金融會社延長法案上院可決 米上院は商品金融會社の營業期限を一
九四五年六月三十日迄延長する趣旨の商品金融會社延長法案を可決下院に回付した

(八九七一)

九〇四八 米國籍離脱法案下院可決 米下院は、米國に生れた米國市民にして米國々籍を離脱せんとするものは戰時中に限り檢事總長の承認を経て市民權を正式に放棄し得る趣旨の米國々籍離脱法案を可決した

(八五〇九)

九〇四八 米上院民主黨院内總務辭職 米上院民主黨院内總務アルベン・パークレルは民主黨院内總務の職を二十四日限り辭職する旨發表した、辭職の理由は口大統領が議會を通過した増稅案を拒否した爲である

(九〇二九)

九〇五〇 米陸軍總府罷業施設接收 口大統領は陸軍長官スチムソンに對し目下罷業中のロス・アンヂェルス市水道、電氣施設を接收するやう命令した

(九〇〇五)

九〇五一 加英に船舶を供給 カナダ軍需供給相クレアンス・ハウは下院に於て三四

箇月の間に大作戦を敢行するため英本國から多數の船舶を急遽に供給する機要請して來たのでカナダ政廳は過去三週間に四千七百噸の船舶を英本國に引渡した旨言明した

(一八五六五)

九〇五二 一九四三年中の濠洲の對英食糧輸出高 濠洲農商相サウリーは、一九四三年中に於る濠洲の英國向食糧輸出高は輸送の困難及太平洋戰線に於る需要の増大に

由り開戦第一年の五〇%に過ぎなかつた旨言明した

(一八五六五)

九〇五三 芬元首相歸國 フインランド元首相パーシキヴィ博士は朝ストツクホルム

を出發空路ヘルシンキに向ける歸還の途に就いた

(一八八八三)

九〇五四 西政府の女子敢用 スペイン政府は十七歳以上三十五歳迄の女子を全部徵用することに決定した

(一八九五六)

二月二十四日 木曜日

九〇五五 我軍英印軍第七師團主力を殲滅 二月九日以來英印軍第七師團主力をアチ

ドン西北方シンゼイワ盆地 Sinsaiwaa basin 附近に包圍攻撃中であつたビルマ

(一八八五二)

九〇五六 米機ラパウルに來襲 臺灣政團に亘り米機機隊連合艇百八十六機がラパウ

(一九〇三八)

ルに來襲した

九〇五七 ロンドン空襲 獨軍當局の言明に依れば獨空軍重爆撃機隊は夜大襲してロ

ンドン市を襲撃し高性能爆弾及焼夷弾を多量投下道所に火災を生ぜしめたが獨空軍の損害は未歸還八機であつた (九〇三九)

九〇五八 ネツツノ橋頭堡に於る獨軍の戦果 獨總統大本營發表に依れば一月二十四

日より本日迄の一周月間に獨軍はネツツノ橋頭堡に於て敵五千七百二十一名を捕虜とし敵戦車二百十二を破壊二十一を使用不能に陥らしめ五を鹵獲し大砲四十門以上を破壊した (一八八五六)

九〇五九 敵機獨境都市襲撃 獨總統大本營の發表に依れば米空軍爆撃機隊は正午頃

強力な戦闘機隊の直街下にドイツ北部、中部及南部敵箇所を盲爆を加へ特にシユワインフルト、ゴータ兩市に損害を與へた獨軍は來週の敵機を撃墜其九十三機を撃墜した

反獨軸軍司令部發表に依れば米軍爆撃機隊はイタリイ南部の基地からオーストリアのシユタイル市の工場を爆撃した (九〇四一)

九〇六〇 開戦以來の米軍損害 米陸軍次官パターソンは開戦以來二月七日迄の米陸軍

軍の損害は次の如く總計十五萬七千八百六十六名に達する旨發表した
陣亡 一九四九
負傷 四五五四五
行方不明 二六三三九
俘虜 二六七四五
計 一一八一二八

海軍、海兵隊、沿岸防備隊 戦死 一六五〇六 負傷 九三二二

行方不明 九四九一 俘虜 四四一九 計 三九七三八

總計 一五七八六六

(九〇四三)

九〇六一 米航空母艦進水 米航空母艦シヤングリラ號二萬七千噸はボーツマス海軍

造船所に於て進水した

(九〇二七)

九〇六二 米増税法案下院可決 米下院は増税法案を二百九十九票對九十五票を以て

可決上院に回付した

米上院民主黨前院内總務パークレーは本日再び同院内總務に選出されパークレーは之

を受諾した

(九〇四九)

九〇六三 米國務次官補任命 米國務次官ステツチニアスは國務省極東問題顧問スタ

ンレー・ホーンベツク Stanley Hornbeck が國務次官補に任命された旨發表した

(八八四九)

九〇六四 亞大統領更迭 アルゼンチン副大統領エデルミロ・フアーレル將軍 Edelmiro

Farrell は大統領に就任した

(八九八五)

九〇六五 獨ナチス黨創立記念日に於る宣傳相演説 獨宣傳相ゲツベルスはナチス黨

創立記念日に當り演説を行ひ、ヒットラー總統に從つて幾多の歴史的な事件を経験

して來た黨員は危機の後には成功の時期が必ず到來することを確信してゐる、ドイ

ツの軍備は着々と強化されて居り近い将来にドイツが政治的にも軍事的にも再び攻勢に出ることが確實となつて来た旨を述べた (八三一二)

九〇六六 英駐ソ軍事使節團長任命 英陸軍省は陸軍中將モンターグ・プロカス・バリスを駐モスクワ英軍事使節團長に任命した旨発表した (八五八九)

九〇六七 昭和十八年度預金部資金運用額 昭和十八年度預金部資金運用額が第三回預金部資金運用委員会に於て八十二億九千五百七十一萬八千圓に決定せられた (九〇一一)

九〇六八 全國商工經濟會協議會總會開會 全國商工經濟會協議會第一回定期總會が内田農商相臨席の下に午前東京都商工經濟會議場に於て開會された (七三四一)

九〇六九 米機ウエワタに來襲 午前二回に亘つて敵機三約八十機が二回ウエワタの境

ウエワタ境地に來襲したが我方は之を激高射砲により其八機(内不確實四)を撃

墜して他を遁走せしめた、わが方の損害は戦死四名である (九〇五六)

九〇七〇 反樞軸空軍アウグスブルク及シユワインフルト兩市爆撃 英空軍省の公表に

よれば米軍爆撃隊は白晝ドイツ南部のアウグスブルク市を爆撃し更に英空軍爆撃隊

隊も夜一同に亘つて同市を爆撃した、英空軍省發表に依れば石空襲に於て英空軍は爆

撃機二十四機を喪失した

英空軍省の發表に依れば英空軍重爆撃機隊はシユワインフルト市を爆撃し爆撃機三十

五機を喪失又米軍第八航空部隊爆撃機隊も同市及びゴール市を爆撃し爆撃機四十九機、

戦術機十機を喪失した (九〇五九)

九〇七一 五日に於る獨軍の敵機撃墜数 獨軍當局の言明に依れば獨軍は二十一日か

ら本日迄の五日間に反樞軸空軍六百三十七機を撃墜した、右の中五百六十二機は最新

鋭四發爆撃機で五千名以上の飛行士が喪失された譯である (九〇七〇)

九〇七二 敵機オランダ及ベルギー襲撃 英空軍省發表に依れば反樞軸空軍はオランダ、

ベルギー及北部フランスを襲撃し爆撃機四十が未帰還である (九〇四二)

九〇七三 米機フィウメ市に連續來襲 米空軍爆撃機隊は二十四日フィウメ市 FIUME

に突襲し住宅地域に盲爆を加へ市民の間に百名前後の死傷を生ぜしめたが本日午後再び同市に突襲市立病院を破壊し市民の間に死傷者を生ぜしめた (九〇七二)

九〇七四 瑞典爆撃 外國飛行機がエーデン四南沿岸上空に飛來(ルンディン)地区に爆撃及機雷を投下した (九〇七三)

九〇七五 米大統領辭養 口大統領秘書アイリーは記者会見に於て口大統領が辭養の爲華府を離れ某地に赴いてゐる旨發表した (八五六八)

九〇七六 濠洲外相ニュープリテン不義渡言明 濠洲外相エヴァットは下院に於て濠洲政府は戦後ニュープリテン島を米國に讓渡する意志は満對にない旨言明した (八八四五)

九〇七七 米海軍工作隊西方へ移動 米海軍工廠長兼船渠局長ギレムは、米海軍の工作隊は米軍が日本本土へ接近するにつれて増力な攻勢基地を建設するため目下西方へ移動して居り既に 暹 羅 港 は世界最大の海軍基地となつてゐる旨言明した (八一六一)

九〇七八 眞珠海空襲の調査官任命 米海軍長官ノックスは前米國アジア艦隊司令長官

トーマス・ハート Thomas Hart を一九四一年十二月七日の眞珠海空襲に於る海軍關係責任者の調査官に任命した (八二四四)

九〇七九 在米日系米人の召集拒否 三十名の日系米國市民が徴兵拒否の廉で最近アイ

々永州ミニ下ノ抑留所に收容されたが同抑留所宣傳係主任ジョン・ビゲロウは、問題
の日米米國人は米國の戰爭目的を拒否した爲抑留所に送られた、彼等は近く華府の軍
務局に報告され何等かの處分が行はれるであらう旨を述べた (九〇四八)

九〇八〇 米増税法案成立 米上院は七十二票對十四票を以て増税法案を可決同法案は
成立した (九〇六二)

九〇八一 米自由民主黨結成 元米陸軍長官ヘンリー・ウィットリンは民主黨内の反ローズヴ
ェルト派を糾合しニューヨークに於て自由民主黨 Free Democratic Party を組織し
た (八八〇五)

九〇八二 米國のアルミニウム及護謨生産狀況 リスボン發同盟電に依れば最近米商務
長官ジョーンズは、米國のアルミニウム生産能力は現在約二千二十億封度に達し、
之に加へ米國はオランダから十三億封度のアルミニウム購入契約を結んで居り此引渡
價格は一封度十五仙で政府が米國アルミニウム會社から買上てゐる價格と同一であ
る、人護謨價格は一九四〇年政府が大規模な生産計畫を開始した當時の價格一封度
二十以上から現在では十五仙に迄下つて居り米國の人護謨生産目標は九億封度であ
る (八八七九)

九〇八三 米上院共和黨院内總務死去 米上院共和黨院内總務チャールズ・マクナリ
Charles McNary はフロリダ州の療養先で死去した

九〇八四 在英加軍司令官辭職
リスボン發朝日時電に依れば在英力チタ軍司令官

マツタ・ノートンは最近辭職した
(八二九八)

九〇八五 濠洲に於る人の貧源不足
濠洲社會相ホロウエーは議會に於て、濠洲は
目下更に多数の勞働者故に兵員を必要とするが現在十四歳以上の男子總人口二百八
十三萬人中二百五十三萬人は軍務又は軍需工場の何れかに服務して居り残り三十萬
人は學童か老弱者であつて實際の役に立たず補給の方途がない旨を述べた
(八〇三九)

九〇八六 葡ルーマニア王の勳爵
メキシコ亡命中の葡ルーマニア國王ジョルジュ二世 GEORGE II
はアルゼンチン政府に對し財産の一部保管を委託するため同國に八月月滞在
の許可願を提出した
(八〇三九)

九〇八七 滿洲國與長部大臣入京
黃滿洲國與長部大臣は午後羽田空港着入京した
(七八六九)

九〇八八 佛陸日大使任命
フランス政府は陸支大使アンリ・コスマ HENRI COSME
を陸日大使に任命した旨發表した
(七七八九)

九〇八九 スロース・獨大使東京歸着
南方諸地域視察中であつた陸日獨大使スロース
は午後東京驛に歸着した
(四三〇四)

九〇九〇 決戦非常措置要綱
十五項目より成る決戦非常措置要綱が閣議に於て決定
せられた
(八五七八)

二月二十六日 土曜日

(171)

九〇九一 米機ラパウルに飛襲 米戦機連合延百五十四機が午前二時に互りラパウルに

飛襲所在部隊は之を退撃其の一機を撃墜三機を撃破した (九〇六九)

九〇九二 ソ聯空軍フィンランド襲撃 フィンランド軍當局の發表に依ればソ聯空軍は

夜數百機からなる編隊を以てヘルシンキ市を襲撃し甚大な損害を與へた (九〇七四)

九〇九三 西歐占領地區獨軍總司令官佛國民に布告 西歐占領地區獨軍總司令官ルント

シュテット元帥は佛國民に對し、佛國內に降下した敵國落下傘部隊員と交渉を持ち又

は之を保護し、敵空軍の投下する武器其他の物を拾得し又は撃墜された敵飛行機に屬

れることを察する旨布告した (八九八〇)

九〇九四 開戦以來の米海軍の損害 米海軍省は開戦以來の米海軍、海兵隊及沿岸防備

隊の損害は次の如く三萬九千九百八十二名に達する旨發表した

戦死 一六六四三 戦傷 九四六一 行方不明 九四六〇

俘虜 四四一八 計 三九九八二 (九〇六〇)

九〇九五 米沈没母艦進水 米海軍航空母艦ベニントン號 Bennington 二萬七千噸が二

月一ヨ一タ海軍造船所に於て進水した (九〇六一)

九〇九六 米昨年中の就役艦艇 米海軍渉外部長ヴェット大佐はデトロイトの夜術者叻

會に於て、昨年中に就役した戦艦用艦艇は百六十萬噸に達し米海軍保有艦艇は倍増

となつた旨言明した (八二三三)

九〇九七 米國の對ソ援助状況

米外國經濟院長官クローリーは、一九四三年中の租賃高は前年に比較して殆ど二倍に達した、一九四一年十月對ソ租賃が開始されて以來一九四四年一月一日迄の對ソ租賃輸出高は總計八百四十萬噸四十二億四千三百八十萬弗に上り一九四三年中の輸出高は五百四十萬噸で前年に比較して二百六十萬噸の増加である、昨年中ソ聯に向け出帆した船舶は九九%迄無事目的地に到着した、對ソ援助開始以來本年一月一日迄にソ聯に對し飛行機七千八百、戦車四千七百、トラツク十七萬、ジープ三萬三千、軍用車輛二萬五千軍靴五百萬足及多量の食糧品を供給した旨發表した

(八五八四)

九〇九八 亞海相並に外相更迭

アルゼンチン臨時大統領フアレルは海相兼外相スエイロ中將の辭職に伴ひホアン・ピスタリス・サリニ將軍を海相代理にデイエゴ・ムノスマソン *Diego Masson* 將軍を外相に任命した旨發表した

(九〇六四)

二月二十七日 日曜日

九〇九九 米機ラバウルに來襲

午前二時に亘り米機戦艦連合艇百五十八機がラバウルに來襲所在部隊は之を遠撃艦載機九戦機三を撃墜七機を撃破した (九〇九一)

九一〇〇 ソ聯空軍フィンランド爆撃

フィンランド政府發表に依ればソ聯空軍は夜がスニア灣沿岸のオウル市を爆撃した

(九〇九二)

九一〇一 最近八日間に於る反樞軸空軍の損害 反樞軸軍司令部發表に依れば二十日よ

り本日迄の八日間にドイツ本土空襲に於て反樞軸空軍は重傷機三三八七、戦術機三十七計四百二十機を喪失した (九〇七一)

九一〇二 昨年中に於る米國の食糧輸出高 米戰時食糧局は一九四三年中の租賞法に依

る農産物輸出向引渡高は總計百十四億八千八百萬封度になり前年展の二倍以上に達した、十二月中の引渡高は九億封度で内五一%がソ聯向、四二%が英國向であつた旨發表した (八八四八)

九一〇三 エアI首相中立強調 エアI首相デ・ヴァレラはキヤヴァンに於て演説を行

ひ、エアIの中立政策は決して一黨乃至外國宣傳機關の傳へるやうに彼個人の政策ではなく全國民、全政黨及全團體に共通の國策である旨を述べた (六〇一五)

九一〇四 重慶政務使節團チヘラン着 重慶政務使節團は英國及トルコを訪問後空路チ

ヘランに着した (八〇三一)

二月二十八日 月曜日

九一〇五 反樞軸空軍フランス北部襲撃 米第八航空部隊司令部發表に依れば同航空部

隊、同第九航空部隊並に英空軍の爆撃機隊はフランス北部の目標を襲撃した (九一〇〇)

九一〇六 米海軍機製作契約取消 米陸軍省は陸軍は民間各社との練習機製作契約を取
消す旨発表した (八九〇九)

九一〇七 駐米軍大使國務省訪問 駐米アルゼンチン大使エスコバール JOSE P. ESCOBAR
は國務省にステツチニア次官を訪問會談した (九〇六四)

九一〇八 亞陸相代理任命 アルゼンチン前労働相ペロン大佐 PERON は陸相代
理に任命せられた (九一〇七)

九一〇九 澳洲の勲章炭坑夫召集 澳洲政府は十八歳より二十五歳迄の勲章炭坑夫五百
名を軍に召集した (八九一二)

九一一〇 獨逸連同協定調印 ドイツ及フィンランド兩國代表團に於て一九四四年獨逸分
連同協定がヘルシンキに於て調印された、尙本協定に於る兩國の物資交換高は一九四
三年に於るものと同額に定められてゐる (四九三一)

九一一一 佛アレスト港に於る強制疎開 佛政府はフランス西岸の安港アレスト市民に
疎開を命じた (八九〇八)

九一一二 林語堂再び渡米 廣東省同盟黨に依れば重慶評論家林語堂は空路米國に向け
重慶を出發した

二月二十四日 木曜日

補遺

九一一三

英國に於る首相並に政府の戦争施策に對する輿論

ニュース・クロニ

クル紙の報道に依れば最近ギヤラツプ輿論調査所ロンドン支部が提出した左記二種の質問に對し次の如き回答比率が得られた(括弧内は昨秋行つた同一質問に對する回答比率)

貴下は首相としてのチャーチルを信任するか

信任八九% (九一%)

不信任 七%

意見なし 四%

貴下は現政府の戦争施策に満足してゐるか

満足六九% (七四%)

不満足一六%

意見なし一五%

(七〇三六)

二月二十六日 土曜日

補遺

九一一四

英國に於る各政黨に對する輿論

デーリー・エクスプレス紙の報道

に依れば英國輿論研究所は最近英國國民の政治的動向に關する調査を行ひ「若し

總選挙が行はれるとしたら貴下は何れの政黨に投票するか」との質問に對し次の如き回答率を得られた（括弧内は一九四三年七月に行はれた同様の質問に對する回答比率）

保守黨	三七・六七%	(三六・九四%)	自由黨	二・二〇%	(六・五八%)
労働黨	二八・六七%	(三四・九三%)	共產黨	五・四二%	(四・二一%)
聯邦黨	八・二〇%	(三・五九%)	無所屬	一・八〇%	(三・九三%)
意見なし	六・〇四%	(九・八二%)			(九・一一%)

二月二十八日 月曜日

補遺

九一一五

敵機ラングーンに襲撃

ビルマ方面帝國陸軍航空部隊は夜ラングーン

上空に來襲せる敵爆撃機隊十數機を遮撃し24機（内不確實2）を撃墜した
我方に損害なし
(九〇五五)

XX

XX

XX

XX

二月二十九日 火曜日

(177)

九一〇六 米機安陸に來襲 午後米空軍戰機連合二十數機が安陸附近に來襲我陸軍航空部隊は之を邀撃其一機を擊墜（不確實）した (八〇六六)

九一〇七 ロンドン空襲 獨軍最高司令部發表に依れば獨空軍は夜ロンドン並に同市近郊地帯を爆撃した (九〇五七)

九一〇八 米機ドイツ西北部襲撃 米第八航空部隊司令部發表に依れば同部隊爆撃機隊は午前ブルンスヴィク市を爆撃、他の一隊はフランス北部のバー・ド・ガレーを爆撃した (九一〇一)

九一〇九 英機病院船襲撃 英空軍四機はペロポネサス西北海上で高國赤十字社所屬の病院船に機銃掃射を加へ同船を炎上させた (八九三〇)

九一一〇 英巡洋艦喪失 英海軍省は英巡洋艦スパルタン號 Spartham を喪失した旨發表した (八九〇七)

九一一一 米スターリン首相の返電内容發表 米政府當局は去る二十三日赤軍創設二十六年記念日に際しロ大統領がスターリン首相宛に祝電を送つたのに對しスターリン首相は赤軍二十六周年記念日に當り友好的祝辭を感謝する米英ソ三國軍が共同の敵下イツを倒す日が切迫してゐることを確信する旨の返電を寄せたと發表した (九〇二八)

九一〇二 米大統領議會に善隣政策通用範圍の擴張を求む 口大統領は議會に致書四通を送り國務省關係三法律、徴兵検査關係一法律の制定を求めた。右の内二法案内容は次の通りである

一、善隣政策擴張法 議會は一九三九年八月米洲諸國に對する善隣政策を積極化する爲大統領に對し米洲諸國との關係を緊密且効果的ならしめる爲の措置を講ずる權限を與へる法律を制定したが同法律を更に擴大して全世界の各國に通用し得るやうにする

二、現在の非常時及今後必要と認められる期間國務次官補二名を増員すること

(九一〇七)

九一〇三 米の對英食糧援助 米外國經濟院長クローリーは、米國が租貸法に依り英國に供給してゐる食糧は英國の全食糧補給額の一〇％に相當する、租貸法に依る食糧輸出は其殆ど全部が依然として英ソ兩國に向けられてゐる旨を發表した(九〇九七)

九一〇四 米食糧助成金法案成立 口大統領は食糧助成金法案に署名した(九〇四七)

九一〇五 米商品金融會社延長法案成立 口大統領は商品金融會社延長法案に署名した

(九一二四)

九一二六 米出征將兵投票法妥協案兩院協議會可決 左記内容の米國出征將兵投票法妥協案が兩院協議會に於て可決せられた

各州知事が州の法律に基き聯邦政府の選挙介入を認めた場合に限り政府は將兵に對し全國一律の不在投票規定を適用し得る

出征將兵有権者は出身州の投票規定に基き投票權の行使が不可能な場合に限り聯邦政府の投票規定に依る投票を爲し得る (八八三四)

九一二七 米特別經濟使節團を反樞軸諸國に派遣 米外國經濟院長クロウリーは、米國の特別經濟使節團が中南米諸國、アフリカ、インド、重慶、濠洲、太平洋諸島等反樞軸勢力下の殆ど全地域に派遣されることとなつた旨發表した

九一二八 埃及米の猶太民族援助に抗議 エジプト首相ナハス・パシヤは米公使アレキサンダー・カーク Alexander Kirk を引見し米國政府が猶太民族復興主義を支持することはアラビア民族の希望並に英國の白誓と相容れない旨抗議した (八五五八)

九一二九 駐米埃及公使ユダヤ人政府設立法案に關して米に抗議 駐米エジプト公使モハメッド・ハサン Mohammed Hassan は國務長官ハルを訪問上院議員エマヌエル Senner for Emmanuel のパレスチナ地方にユダヤ人政府を建設せんとする法案にエジプト政府は絶對反對なる旨抗議した (九一二八)

九一三〇 米在郷軍人會長對日獨戦に關して國民に警告 米在郷軍人會長アサートンはニューヨークに於て演説を行ひ其中に於て現在の率で行くと米軍がベルリンに達する迄には八十萬の損害を覚悟しなければならぬまい、對日戰の場合には此豫想は更に悪く三

百萬の米國青年は日本軍の手に依つて命を棄てなければならぬであらう旨を述べた

九一三一 亞海相任命 アルゼンチン大統領ブアーレルはアルベルト・テイシス提督

Albert Teissisを海相に任命した (九一〇八)

九一三二 亞政變に關する米國務次官の言明 米國次官ステツチニアスは記者會見に於

て、アルゼンチンに於る今次政變の結果若し米國アルゼンチン兩國の通交が斷絶するやまな場合には米國は寧ろ斷交措置に出るより新政府不承認の形式を取るとささなるであらう旨を言明した (九一三一)

九一三三 ソ聯對芬和平條件發表 各スクワ放送局はソ聯政府がフィンランドに提案し

た和平條件を發表した (九〇五三)

九一三四 獨外務當局ソ聯のポーランド軍司令官任命に關して見解表明 獨外務當局は

記者會見に於て、ソ聯は最初ロンドンの亡命ポーランド政權に對抗する政權の主班にポーランド愛國者同盟のワシレフスカヤ女史を擔ぎ出さうとしたが英國の反對に違つたので、英國の諒解を得てローラ將軍 *コル* と稱する怪人物をポーランド領内に於るポーランド軍司令官に任命した、右はローラ政權の名に於てポーランドを事實上ソ聯の支那下に置かんとするものである旨の見解を表明した (八九九三)

九一三五 比島大使信任狀捧呈 昨日比島大使ホルヘ・ペー・ヴァルガスは午前參内

天皇陛下に謁見仰付られ信任狀を捧呈した (八八六六)

九一三六 決戦非常措置具體策

決戦非常措置一部具體策即ち高級事業停止に關する具

體策要綱、官廳の常時職務に關する件、官吏の出張制限に關する件、官廳の文書物品等の整理並に其積極的活用供出に關する件、海上輸送力非常動員實施方針要領の五項目が附屬に於て決定された、右の内高級事業停止に關する具體策は三月五日より其他は同一日より實施されることとなつた

(九〇九〇)

九一三七 獨海空軍の二月中に於る戦果 獨軍當局は二月中に於て獨潜水艦並に空軍は商船二十六隻十四萬四千八百八十五噸、小貨物船十一隻、巡洋艦一隻、驅逐艦十隻、護衛艦五隻を撃沈した旨發表した (八七四四)

九一三八 敵機ヴアチカン市空襲 反樞軸空軍一機は午後八時ヴアチカン市上空に飛來六百米の低空から市周邊一帶に爆彈六個を投下した (九一〇五)

九一三九 英驅逐艦喪失 英海軍省は驅逐艦ウオリツク Warrwick 千二百噸を喪失した旨發表した (九一二〇)

九一四〇 印度軍兵力 インド國防長官フィロズカン・ヌーンは、インド陸軍兵力は現在約百七十萬、海軍兵力は約二萬、空軍兵力は非戦闘員を加へて約三萬である旨を發表した (八五〇四)

九一四一 英新司令官着 新任イラン、イラク駐屯英軍司令官中將スミスは着任した (八九一七)

九一四二 米大統領白聖館に歸還 ロ大統領は一週間に亘る静養より白聖館に歸還した (九〇七三)

九一四三 米飛行機日産高 米國戰時生産局次長チャールズ・ウイルソンは二月中の飛行機生産は一日平均三百五十機に達し新記録を示現した旨發表した (九一〇六)

九一四四 米上院船舶粗製濫造問題の調査に着手

民主黨上院議員トルーマンを委員長

とする軍需生産調査委員会はリバティ型船の粗製濫造問題に就て調査を行ふこととなり
ニユーヨークに於て公聴會を開始した

(八八六二)

九一四五 アルゼンチンに於る叛亂

アルゼンチン政府の發表に依ればアルゼンチン歩

兵第三聯隊長中佐トマス・ドウコ Dico は二月二十九日夜半過ぎ兵員を召集叛亂を企
圖しロマス・デ・ザモラの一部分に占據したが直に鎮定ドウコ中佐は逮捕され國內は全
く平穩となつた

(九一三二)

九一四六 パラグアイに於る大罷業

パラグアイ労働者聯盟が大統領モリニゴの辭職を

要求したため労働者指導者五百名が逮捕された後大罷業が勃發し同國最大の橋梁を合
む四鐵道橋梁は暴徒に爆破せられた

(八六八〇)

九一四七 獨總統クロアチア首相竝に外相と會見

獨總統大本營發表に依ればヒツトラ

總統は總統大本營に於てクロアチア首相マンディク Dr. Nikola Mandić 竝に外相ペ
リツク Stjepo Perić と會談した

(五三六一)

九一四八 芬ソ芬和平交渉否定

フィンランド情報局は、フィンランド及ソ聯兩國政府

間に正式和平交渉が行はれた事實はないがフィンランド元首相パーシキヴキは最近ス
トツクホルムに於てソ聯公使コロンタイと會談し會談内容はフィンランド議會に付議
された旨を發表した

(九一三三)

九一四九 佛解放委員會駐ソ大使任命並特使派遣

佛解放委員會は書記官長ガストン。

パレウスキーを駐ソ大使に任命し元佛空相ピエル・コツト Pierre Cot を特使としてモスクワに派遣するに決定した

(七二二三)

九一五〇 西の新兵役登録令 スペイン陸軍省は一九二三年生れの全壯丁に對し直に兵役登録を行ふやう指令した

(九〇五四)

九一五一 重慶外人記者團の西北地區視察 重慶政權宣傳部長梁寒操は記者會見に於て

外人記者團の西北地區視察は輸送其他の準備も近く完了するので多分二十日乃至三十日以内に實現するであらう旅程は大體四箇月乃至五箇月で共產地區を含む全西北地區を訪問し延安地區では十縣又は其以上の縣を視察する筈なる旨言明した (六七五五)

九一五二 比島レガスビに總領事館分館開設 在マニラ帝國總領事館はレガスビに分館を設置し田邊副領事を主任に事務を開始した

(七八六七)

九一五三 廣州灣占據地域國民政府に移管 南支軍當局は本日より廣州灣占據地域の軍

政を撤廢し同地域を國民政府廣東省政府治下に編入することとなり正午軍司令部に於て軍司令官と陳廣東省長の間に右に關する協定が調印せられた

(四七一六)

九一五四 滿洲國建國十二周年 滿洲國建國十二周年に當り午前王大使以下康徳會館に

於て建國節式典を舉行午後一時半から日比谷公會堂に於て大政翼贊會與亞總本部主催の滿洲帝國建國紀念與亞使節講演會、午後五時半から帝國ホテルに於て日滿中央協會

主催の祝賀會が閉じられ午後七時二十分から東京首相と張南洲國國務總理との間に交換放送が行はれた

(四八一七)

九一五五 澤本海軍次官進級 海軍次官兼海軍將官會議議員海軍中將澤本頼雄氏は海軍

大將に親任せられ、本職を免ぜられ軍務參議官兼海軍省出仕に補せられ海軍次官兼海軍
取扱を仰付られた

(九〇一〇)

九一五六 米機ヤルト島に來襲 朝敵機十數機がマーシャル諸島ヤルト島に來襲所
在部隊は之を遊撃其一機を墜落他を逃走せしめた (九〇三七)

九一五七 ロンドン空襲 獨軍當局の發表に依れば多數の重爆撃機より成る獨空軍の強
力編隊は早曉ロンドンに對し新攻撃を加へ第一回の爆彈投下は午前三時に行はれたが
攻撃は狹隘な地域に集中して半時間繼續され極めて猛烈なものであつた (九一一七)

九一五八 米空軍獨西部襲撃 獨總統大本營發表に依れば米空軍爆撃機隊は有力なる戰
闘機隊の直衛下に白晝密雲を犯してドイツ西部及西南部を盲爆したが獨防空陣は其十
九機を墜した (九一一八)

九一五九 東部戰線北部地區に於る獨の新防禦線 獨軍當局は、獨軍が新に據つた東部
戰線北部地區の新防禦線は第一回試煉に成功した、此主要防禦線は獨軍が新陣地に
分離作戦を行ふ以前に綿密なる注意を以て長期間を要して建設されたものである旨言
明した (九〇四〇)

九一六〇 英戰闘艦五隻就役 ストックホルム發同盟電に依れば開戦以來戰闘艦五隻が
英國海軍に増強された (八七二六)

九一六一 伊戰線に於る米軍の損害 米陸軍長官
スチムソンは記者會見に於て、イタリヤ戰

線に於る米軍の損害は大きい、目下判明したところでは戦死五千六十一、負傷二萬一千七百八十八、行方不明九千九百二十八計三萬六千七百七十七名に上る旨發表した

(一九〇九四)

九一六二 米陸軍長官米軍の戦争方針に關して言明 米陸軍長官スチムソンは記者會見に於て、米軍第一の戦争方針は米國將兵の生命を護るにあつてローマが萬一戦闘地區となつた場合同市の文化的宗教的建築物の破壊が米國將兵の生命を護るに必要となれば米國軍は如何なる非難を受けやうとも躊躇せず此を破壊するであらう旨を述べた

(九一六一)

九一六三 米中東軍司令官更迭 米陸軍省は代將ベンジャミン・ジャイルスがラルフ・

(八八七六)

九一六四 米海軍長官上院に於て國民徵用法實施の必要を強調 米海軍長官ノックスは

國民徵用法案審議中の上院陸軍委員會に於て、米軍が未だ會て經驗したことの無い激戦が我々の目前に迫つてゐる、而も此戦争の後には更に一層困難な太平洋戦争が控へてゐる、斯る状態下にあつて米國は軍需生産に聊かの弛緩の起るのも許されない、之が爲には國民徵用法の至急實施が必要である旨を述べた

(八五八三)

九一六五 米英會議開催準備中 米國務次官ステツチニアスは記者會見に於て、米英兩

國政府は直接作戰に關係なき兩國共通の問題協議のため會議を開催すべく目下準備中

イタリ―艦隊の約三分の一をソ聯海軍に引渡す交渉が米英ソ三國間に於て半ば成立した、米英兩國海軍は既に多数のイタリ―艦艇を使用してゐるが兩國に對しても夫々約三分の一宛が割當てらるる筈である旨言明した

九一七七 米英接收佛船を佛解放委員會に引渡 米戰時海運局はフランスの對獨降伏後

米英兩國が接收したフランス船は佛解放委員會に引渡すこととなつた旨發表した

九一七八 米西陸軍少將中將に連破 口大統領はユートニー・ホツヂス、リナヤード、

サザランド、レイモンド・ホワキラー、ジョン・リーの四陸軍少將を中將に連破せしめるため上院に其承認を求めた

九一七九 米海軍謀士十五萬弗 米海軍長官ノツクスは下院議長レイバーンに書翰を送

り總額約十五萬弗の海軍施設建設追加謀專の承認を求めた、右追加謀專の主なる内容は次の如である（單位百萬弗）

前運基地建設に要する一、〇〇〇 航空部隊施設一八二 艦隊施設三三

海兵隊宿舍及訓練施設二〇 (八九三五)

九一八〇 米十七歳の學生に軍事訓練實施 口大統領は、兩十七歳に達した學生にも軍事訓練を實施することとなつた旨發表した、同米國では最近現行徴兵法の適用年齢を

擴張して十七歳の男子をも徵集する處旨の法案が議院に提出されてゐる

(九〇一三)

九一八一

西亞石油問題に關する米大統領並に石油調整局長官の言明

口大統領は記者

(191)

會見に於て、政府は石油資源問題では數年でなく數十年の先の事迄心配してゐる旨を述べた

米石油調整局長官イツキーズは、アラビヤから地中海への送油管建設は將來萬一の場合に米國が石油不足に陥らぬやう遠大な考慮の下に計畫されたもので英國が之に對して如何なる態度を示さうとも又米國の民間が之に反對しやうとも議會が法律で之を禁止しない限り政府は既定方針の實行に向つて進むであらう旨言明した(九一六五)

九一八二

米英會議ロンドンに於て開催

口大統領は記者會見に於て、米英兩國は今回

ロンドンに於て外交會談を開催することとなり國務長官ハルが靜養先から華府に歸還次第國務次官ステツチニアスがロンドンに赴く豫定である旨發表した(九一八一)

九一八三

米墨經濟協定調印

米國メキシコ兩國政府間にメキシコに於る補油所建設資

金一千萬弗の對メキシコ融資協定が調印せられた

(七八二〇)

九一八四

胡孫米大統領訪問

重慶紙大公報社長胡孫は白堊館に口大統領を訪問會談し

た

(九一一二)

九一八五

パラグアイに於る労働組合の國家管理

パラグアイ大統領モリニゴは労働組

合を國家管理下に置く旨發令軍餘をして鐵道電車及全労働組合事務所を接收せしめた

(九一四六)

九一八六 英濠兵士の給與に關する英外相並に濠洲首相の言明 英外相イーデンは下院に於て、英政府は英陸軍の給與手當に付調査を行ふ用意がある、英兵の給與を米兵の水準迄引上る件に就ては考慮の餘地がないが其後に何等かの方法で混合せをする積りである旨を述べた (七七四七)

濠洲首相カーチンは下院に於て、濠洲政府は濠洲に駐屯する米軍兵士の給與を濠洲軍兵士と同じ水準迄引下げるや米政府に提案する件を考慮する旨を述べた (八四八二)

九一八七 決戦非常措置具請策第三次發表 決戦非常措置に依る國民學校兒童に對する學校給食、空地利用の徹底、一般に帝都京師促進要綱が情報局から發表せられた (九一三六)

九一八八 新聞の建頁變更 政府は新聞用紙節減のため全國新聞の建頁を變更せしめることとなり新聞建頁變更の件が閣議に於て決定せられた

九一八九 全金融機關日曜休日廢止 全國金融統制會は全金融機關をして來る五日より日曜休日を廢止し平日通營業を行はしめることに決定本日各業態別統制會を通じ會員に右の旨通達した (九一八七)

三月四日 土曜日

一九〇 英印軍第七師團殲滅戦々果 **ブチドン**正面に於る英印軍第七師團殲滅戦々果

中現在迄に判明せるものが次の如く大本營から發表せられた

遺棄死體 約七千（内英人少くも三千） 俘虜 約六百

鹵獲又は破壊せる兵器 十糧加農及十五糧榴彈砲二十一、高射砲六、迫撃砲三十四、

速射砲三十、銃器千九百五十、戦車四十五、自動車六百六十、舟艇十七等

撃墜せる飛行機 六十二機 (九〇五五)

一九一 帝國陸軍部隊の敵航空部隊に對する作戦の綜合戦果 帝國陸軍部隊の二月中

に於る敵航空部隊に對する進攻及返撃作戦の綜合戦果が次の如く大本營から發表され

一、支那方面 撃墜三十一機（内不確實十四） 撃破十二機

我方自爆未歸還十五機

二、ビルマ方面 撃墜七十七機（内不確實十四） 撃破四機

我方自爆未歸還十機

三、ニューギニア方面 撃墜百二十五機（内不確實二十八）

我方自爆未歸還九機 地上に於る損害四十六機

四、ブーゲンビル島及
ビスマルク群島 撃墜百三機（内不確實十一機） 撃破五十五機

撃墜・破 合計

四百七機 (内不確實六十七)

我方の損害八十機

(八七七五)

九一九二 敵機ラバウルに來襲

米機戦爆連合百三十九機が午前ラバウルに來襲所在部隊は其三機を撃墜、四機を撃破した、我方の上陣地に若干の損害を蒙つた

(九〇九九)

九一九三 米空軍ドイツ襲撃

反樞軸軍司令部發表に依れば米空軍は白晝獨本土及ベルリン近郊を爆撃空の要塞十四機、戦闘機二十六機を喪失した

(九一七三)

九一九四 開戦以來の米海軍損害

米海軍省は開戦以來米海軍、海兵隊及沿岸防備隊の損害は次の如く總計四萬四百八十七名に上る旨發表した

戦死一七、〇三七

戦傷 九、六七四

行方不明九、三五九

俘虜 四、四一七

計 四〇、四八七

(九一六一)

九一九五 開戦以來三年間の英軍及空襲に因る非戦闘員の損害

英内相モリソンは開戦以來三年間の英軍及空襲に因る非戦闘員の損害は次の如く夫々二十八萬三千八百四十四名及二十二萬一千三百九十九名に達する旨發表した

英軍の損害 戦死七三、四七七

空襲に因る非戦闘員の損害

死者五八、三二四

負傷五八、一六三

空襲に因る非戦闘員の損害

死者五八、三二四

負傷者一六三、〇七五

(九〇二五)

九一九六 イタリ―艦隊處分案に對しバドリオ政權行動の權利留保　バドリオ政權は、
イタリ―艦隊の處分に就てはバドリオ政權は何等事前に相談を受けずロ―ズヴエルト
の言明も新聞報道で知つたに過ぎない、バドリオ政權は反樞軸關係國に右に關する具
體的内容を大至急通告するやう要求したので詳細が判明する迄行動の權利を留保する
であらう旨の同問題に對する同政權の態度を發表した
(九一七六)

九一九七 最近三箇年間の米軍需生産高　米上院軍需生産調査委員會は、米國は一九四

一四二、四三の三箇年間に於て飛行機十五萬、軍艦七百四十六隻、上陸用舟艇二萬三千
隻、自由型輸送船千八百隻、補助艦艇二萬八千隻、軍用貨物自動車百五十萬を生産し
た外總額二千萬弗で各地に最新式工場を建設した旨發表した
(九一四三)

九一九八 米國務省當局對西石油輸出に關して言明　米國務省當局は、スペインは依然
米國から石油輸入を許可されてゐるが之は一月二十八日以前に發行された許可證を有
するものに限られる、國務省は一月二十八日カリブ海地域に於るスペインの油槽船に
對する石油積込を停止する旨を決定したが之は米國からの潤滑油を含む石油の輸出許
可證にも適用されるものと見られる旨言明した
(八九五六)

九一九九 米對亞國交停止　米國政府は同國政府がアルゼンチン政府との外交關係を停止し
た旨發表した
(九一四五)

九二〇〇 米二月中の造船高　米海軍委員會は、二月中に引渡を了した船舶は十七隻の

自由型及最初の高速度ヴィクトリー型船を含み總數百三十四隻で一月に比較して十隻
十六萬八千百三十四噸の増加である旨發表した (八八六二)

九二〇一 米次期大統領選挙に對する自由民主黨の態度 米自由民主黨の組織者ハリ
ウッドリングはニューヨークに於て、ローズヴェルトが若し次期大統領選挙に立候補
するならば自由民主黨は第三黨として独自の大統領候補を指名するであらう旨を聲明
した (九〇八一)

九二〇二 濠洲外交専門學校設立 濠洲政府は今回カンベラに外交専門學校を設立外相
エヴァットは濠洲の外交自主權確立の見地から右學校設立の重要性を強調した演説を
行つた (九一八六)

九二〇三 重慶政權及アフガニスタン政府間修交條約調印 重慶政權外交部は重慶政權
ミアフガニスタン政府間修交條約がアンカラに於て兩國外交代表間に於て調印された
旨發表した

九二〇四 在米抑留邦人救恤品分配完了 在米抑留邦人救恤品はカナダ、米本土、キユ
ーバ、ハワイの順序に各抑留所に分配された旨ジューネーヴの萬國赤十字社國際委員
會から海外同胞中央會に入電があつた、送付した救恤品は書籍二十五個中五個が沒收
され、醬油樽四十一個が破損した外は何れも無事送達せられた (六〇〇二)
九二〇五 夕刊新聞の發行休止 全國新聞社は日本新聞會の決定に基き六日附より夕刊
の發行を休止することとなつた旨發表せられた (九一八八)

九二〇六 米軍グリーン島に上陸 二月中旬頃より敵はニューアイランド島東方グリーン島に上陸し同島に飛行場及魚雷艇基地を建設中である日本日の朝刊に於て發表された

七〇〇一

九二〇七 米機ラパウルに來襲 米機延百十機が午前午後に亘り來襲したが所在部隊は

B 24 二機を墜落した、我方地上陣地に若干の損害を蒙つた (九一九二)

九二〇八 開戦以來の加軍の損害 カナダ防空相パウワーは下院に於て開戦以來二月末迄に於るカナダ空軍の人的損害は一萬一千三百四十二名に達した旨發表した

(八九七九)

九二〇九 米機逐艦進水 米海軍省は逐艦進水リゼイがベスレヘム・スチール會社の造船所で進水した旨發表した

(九〇九五)

九二一〇 亞政府の米州大軍安定に關する布告 アルゼンチン大統領フアーレルは、アルゼンチン政府は國內に於る米州大軍の安定を危殆に陥らしめるが如き一切のものを除去する旨布告した

(九一九九)

九二一一 ロンドン地下鐵従業員帰業 各官廳官社銀行等は本日曜日より年

(五九二二)

九二一二 官廳官社銀行等日曜休業廢止 各官廳官社銀行等は本日曜日より年

求突如帰業を開始した

日同様に執務することとなつた

(九一八九)

三月六日 月曜日

九二一三 米機ベルリンに來襲 湖嶽統大本營發表に依れば米空軍は正午前後ベルリンに來襲したが獨軍防空陣は敵四機爆撃機百十八機其他計百四十機を撃墜した

(九一九三)

九二一四 米商船隊員の損害 米海軍省は一九四一年九月十九日から一九四四年三月一

日迄の米商船隊員の損害は次の如く五千五百六十五名に達する旨發表した

死者 七〇〇 俘 奪 五六五 行方不明 四三〇〇

計 五五六五

(九一九四)

九二一五 米飛行機租賃高 米外務省經濟院長クローリーは、一九四一年三月以來米國は

軍用機十五萬機を生産し内二萬八千機が海外に輸出されたが此中二萬一千機が租賃法に基く輸出で残りの七千機に對しては現金を以て支拂はれた、輸出飛行機の主要輸或

別供給高は英國九千二百機、ソ連七千八百機である旨を發表した (九一九七)

九二一六 米下院委員會各省追加撥款案 米下院撥款委員會は各省及政府各機關の追加

加撥款案に九千二百二十三萬五千鎊の削減を加へ總額五億十萬三千鎊として本會議に回付した

九二一七 米造船修補施設緊急建設案下院可決

米下院は海軍造船修補施設緊急建設案

を満場一致可決白星前に回付した

(九一七九)

九二一八 米短波放送局建設

米ナショナル放送會社は百萬弗の短波放送局の建設案を

發表した

九二一九 米造船工業

米カリフォルニア州オークランドのムア乾船會社の産業制

組織會議系造船工が罷業を開始した

(九〇三〇)

九二二〇 米資源調査隊エチオピア着

米政府派遣の資源調査隊がエチオピアのアジス

アベバに到着した

(九一二七)

九二二一 智亜新政府承認

リスボン後同盟に依ればチリ政府はアルゼンチン新政

府を承認した

(九二一〇)

九二二二 英モンマスシャー炭坑罷業

英モンマスシャーの炭坑夫一萬二千名は賃金制

度に対し罷業を開始した

(九二一一)

九二二三 イラク政府アラビア人の團結を奨励

イラク政府はパレスチナに於るアラビ

ア人ミユダヤ人との對立問題を以て、アラビア各處は今回のパレスチナ問題を以てア

ラビア人種益權の共同動作を収めねばならぬ、斯くする事に依り本問題を以てアラ

ビア人の團結を奨励するが目的であるとの聲明を發表した

(八七九七)

二月二十四日 木曜日

補遺 九二二四 佛領印度支那總督府對日事務局支部設置 佛領印度支那總督府はハノ

イに本部の外に支部を設置する旨を公布した (八四一六)

二月二十九日 火曜日

補遺 九二二五 米軍ロスネグロス島に上陸 有力なる敵部隊はアドミラルテイ諸島

Admiralty Group 中のロスネグロス島 Los Negros に上陸同島守備の我

部隊及航空部隊は之と激戦を開始した (九一七二)

三月六日 月曜日

補遺 九二二六 米機ラバウルに來襲 米機戦爆連合百三十機が午前ラバウルに來襲所

在部隊は地上砲火に依り戦爆各一機を撃墜した、我方の損害輕微(九三〇七)

補遺 九二二七 スエーデン領土に不時着した外國軍用機數 スエーデン軍當局の言明

に依れば大戦開始以來本日迄にスエーデン領土に不時着した外國軍用機は六十

七機で其大半は英米兩國機である

(九〇七四)

××

××

××

××

三月七日 火曜日

九二二八 敵機北千島に來襲 三月三日、五日及本日の三日間に亘り敵機二機乃至三機

北千島に來襲照明彈及爆彈數十を投下して遁走した、我方に被害なし(九〇一五)

九二二九 獨潜水艦の大西洋及印度洋に於る戦果 獨軍當局は獨軍潜水艦が大西洋及印

度洋に於て荷物を満載した貨物船十二隻七萬一千噸を撃沈した旨言明した(九二三七)

九二三〇 獨ロンドン空襲に成層圏爆撃機使用 ラ・スイス紙の報道に依れば獨空軍は

最近のロンドン爆撃に成層圏爆撃機を使用し一萬四千米の高度でロンドン上空に侵入

六千米の高度迄降下して投弾してゐる (九一五七)

九二三一 シチリア上陸作戰以來の英海軍艦艇の損害 英海相アレクサンダーは下院に

於てシチリア島上陸作戰以來英艦隊は巡洋艦二隻、水雷敷設艦一隻、驅逐艦十隻、潛

水艦二隻、小型軍艦十隻を喪失した旨發表した (九一九五)

九二四二 英海相下院に於て英艦隊の東亞派遣を確約 英海相アレクサンダーは下院に

於て英國は將來其海軍力の最大限を東亞水域に回航し對日戦に寄與するであらうこと

を茲に確約する旨言明した

(八九二三)

(202)

九二二三 伊艦隊の處分に關して駐北阿佛政權ソ聯大使の言明 佛解放委員會派遣ソ聯大使ボゴモロフはアルジェールに於て、ソ聯は米英兩國と共同して地中海地域の防衛に當ることとなるであらう、今回ソ聯に分與されるイタリ―艦隊の乗組員は既にソ聯を出發して居り引渡は恐らくモ―ルタ島に於て行はれるであらう旨を述べた

(九一九六)

九二三四 米ペル―海軍に沿岸防備艇讓渡 米海軍省は沿岸防備艇二隻をペル―海軍に讓渡した旨發表した

(八六三九)

九二三五 米英ロンドン會議米代表決定 米國務次官ステツチニアスは記者會見に於て米英ロンドン會議の米國代表團を次の如く發表した

代表 國務次官エドワード・ステツチニアス Edward Steutinus
隨員 國務省歐洲局長フリーマン・マシユース Freeman Matthews

近東及アフリカ局長ウォレス・ミュレー Wallace Murray

ジョン・ホプキンス大學總長イザイア・ホウマン Isaiah Homan

商業顧問 ジョン・ブラット

代表團幹事 國務次官秘書ロバート・リンチ

(九一八二)

九二三六

ユダヤ國建設に關する埃及の抗議に對し米政府回答 駐エチプト米大使カー
クはエチプト首相ナハス・バシヤを訪問ユダヤ國建設案に關するエチプトの抗議に對
する米政府の回答を手交した (九二二九)

九二三七

米コロラド州に於る下院議員補缺選舉 米國コロラド州デンヴァーに於る下
院議員補缺選舉に於て共和黨候補デイン・シレスビーは民主黨候補カール・ウアテ
ルを三千票に近い差を以て破り當選した (八五八五)

九二三八

コロンビア内閣總辭職 コロンビア内閣は總辭職した (八五五一)

九二三九

イラク首相辭職 イラク首相ヌリ・サイドは突如辭職した (九二二三)

九二四〇

重慶政權學生徵兵令公布 重慶政權は從來の學徒志願兵制度に代り學生徵兵
令を公布した、右に依り大學、專門學校生徒は強制的に軍事通譯として二箇年間米英
軍に従軍せしめられることとなつた (九二〇三)

九二四一

非常用衣食住物資備蓄に關する件 決戦非常措置要綱に基き非常用衣食住物
資備蓄に關する件が閣議に於て決定され重要防空地域に於て主要食糧、副食物、乳兒
用物資、纖維製品、燃料、住宅資材等の相當豊富なる數量が常備されることとなつた
(九一八七)

九二四二

錫合金補助貨 勅令貨幣の形式等に關する件が公布され十錢、五錢及一錢の
三種の新補助貨が發行されることとなつた、十錢及五錢は何れも錫九三%亜鉛七%を

含み一錢は錫五〇%亜鉛五〇%を含有してある

三月八日 水曜日

九二四三 米機ヤルト島に來襲 敵爆撃機B24十機が午前マイシヤル諸島ヤルト島

に來襲我所在部隊は之を邀撃其二機を撃墜した (九二四五)

九二四四 米機のラバウル襲撃及ギルギル上空に於る日米空中戦々果 米空軍戦爆連合

約百三十機が午前ラバウルに來襲我所在部隊は之と交戦撃退した、我方の損害なし

我陸軍航空部隊は戦闘機護衛下に出撃し來つたB24十五機をウエワク東方約百キロ
のギルギル上空に於て邀撃B24七機戦闘機一機を撃墜した、我方一機不時着した

(九二二六)

九二四五 米機ベルリン襲撃 在英米第八航空部隊司令部發表に依れば米空軍は二千機

以上の編隊を以て白晝ベルリンを爆撃焼夷弾三十五萬個以上、高性能爆弾一萬個以上、
重量三千噸を投下したが獨軍の邀撃に遭ひ爆撃機三十八、戦闘機十六を喪失した

獨軍公報に依れば右空襲に於て獨軍戦闘機及防空砲火は米空軍を邀撃して其百十二機

(内四發爆撃機六十六)を撃墜した (九二一三)

九二四六 新西蘭軍師團長重傷 ニュージーランド首相フレイザーはイタリイ戦線に派
遣されてゐるニュージーランド第二師團長少將キツペン・パーガが前線に於て重傷

を負ひ兩脚を失った旨發表した

(六七一〇)

九二四七 印度駐屯英軍參謀長更迭

英陸軍省は英本國東南部防衛司令官中將スウエー

ン J. C. Swain がインド駐屯英軍參謀長に、前任者中將モリス E. L. Morris が英本

(八六五二)

北部防衛司令官に任命された旨發表した

九二四八 米國現有艦艇並に海軍兵力

米下院海軍委員長グインソンは、米艦隊勢力は

戦争の大損耗を克服して一九四三年一箇年だけでも戦闘用艦艇百六十萬噸を加へ總勢

力は開戦前の二倍となった、同時に海軍兵力も著増を示し現在では將校一般水兵を含

(五五三二)

み二百三十八萬八千に達した旨聲明した

九二四九 米巡洋艦再就役

米海軍省は巡洋艦ニューオーリアンズ號が修理完了し再就

(九〇九六)

役した旨發表した

九二五〇 バラグアイ亞に親善關係維持通告

バラグアイ政府はアルゼンチン政府に依

(九一八五)

然親善關係を維持する旨を通告した

九二五一 英の對米逆租賃狀況

米外國經濟院長タロリーは下院に於て、逆租賃に最

大の寄與を爲してゐるのは英國で對米逆租賃は現在年額二十億弗にも及んで居り英國

に駐屯する米軍の消費する補給品の三分の一迄が英國に依り供給されてゐる状態であ

(九二一五)

る旨を述べた

九二五二 英國の軍需生産狀況

英生産相トルトンは下院に於て英國の軍需生産狀況

況を次の如く發表した

一、開戦以來一九四三年末迄に飛行機九萬機以上を生産したが其大多數は軍用機である、現在の航空機生産力の五分の四以上は爆撃機、海軍哨戒機、輸送機、練習機の製作に振り向けられてゐる

二、軍艦の建造力は英國艦隊の損害を補填して餘がある

三、開戦以來一九四三年末迄の對陸軍生産は戦車装甲車其他八千三百、口径二十耗以上の砲十一萬五千、砲彈二億五千萬等であつた (八五四八)

九二五三 英炭坑罷業擴大 モンマスシア竝にサウス・ウエールズ地方一帯の炭坑罷業は本日に入り更に擴大し休坑總數は六千箇所に及びウエールズ地方の炭坑夫十萬の中殆ど七萬が罷業に参加した、英燃料相ロイド・チヨーチ少佐は夜ロンドンに炭坑主竝に炭坑夫代表を招致し劃一的賃金制度を一部改訂して特に労働條件の悪い炭坑に就ては特別手當を支給するといふ提案に同意した、炭坑夫は明日會議を開催した上で右和協案に對する諾否を決定する豫定である、目下の出炭喪失量は一日六萬噸と推定され
(九二二二)
てゐる

九二五四 日高駐伊大使御信任狀捧呈 日高駐伊大使はローマに於てイタリヤ社會主義
(七五五七)
共和國首班ムソリニに御信任狀を捧呈した

九二五五 イラン内閣總辭職 イラン内閣は總辭職した
(八一七九)

九二五六 重慶に於る物價

重慶政權宣傳部長梁寒操及參事張平群は外人記者會見に於

て、重慶の卸賣物價は戰前に比し二百三十倍になつた、米及石炭の價格は一九四三年末に比し六割の騰貴となつてゐるが他の五洋品に就ては三乃至四倍、マッチは戰前の六百倍、食用油は同百七十倍、綿布は同三百四十倍に達した旨を述べた

(九二四〇)

九二五七 敵機大治に來襲 敵機爆連合三十數機が大治に來襲したが我軍は其三機を撃墜した、我方殆ど損害なし (九一一六)

九二五八 赤松エストニア爆撃 ソ聯空軍は夜百機乃至百五十機の編隊を以てエスト

ニアの首都タリンを爆撃した (九一七四)

九二五九 爆撃に因るパリ市の損害 佛政府當局は過去十三回に亘る反樞軸空軍のパリ

爆撃に因る損害を次の如く發表した

死者一、九三八 重傷者三、四三八 住所を失つた者五四八四七

倒壊家屋三、八三一 (九一一一)

九二六〇 開戦以來の米陸海軍の損害 米陸軍長官スチムソンは開戦以來本年二月二十

三日迄の期間に於る米陸海軍の損害は次の如く陸軍十二萬一千四百五十八名、海軍四萬八百二十四名計十六萬二千二百八十二名に達する旨發表した

陸軍 戦死二〇、五九二 負傷四七、三一八 行方不明二六、三二六

俘虜二七、二二二 計一七一、四五八

海軍 (海兵隊及海軍防備隊を含む)

戦死一七、二六一 負傷 九、九一〇 行方不明 九、二三九

俘虜 四、四一四 計 四〇、八二四

總計 一六二、二八二 (九二一四)

九二六一 北阿方面米軍參謀長戰死 米陸軍省は北阿方面米軍參謀長准將カール・グレイ

イ CARL GRAY が地中海戦域の戦死に於て戦死した旨發表した

九二六二 英本土東南部及西部防衛司令官任命 陸軍中將シュレイバーが英本土東南部

防衛司令官に、少將ワトソンが同西部防衛司令官に任命せられた (九一四一)

九二六三 米國務長官華府歸着 米國務長官ハルはフロリダの静養先から華府に歸還し

た (九一八二)

九二六四 米外交官異動 米政府當局は外交官の異動を次の如く發表した(括弧内は前

職)

駐パナマ大使ウォレン (駐ドミニカ大使)

駐イラン大使モリス Leonard B. Morris (駐アイスランド公使)

駐アイスランド公使ドレイフアス Louis G. Dreyfus (駐イラン公使)

駐南阿聯邦公使トーマス・ホルユーム (海兵隊退役將官)

駐ニュージールランド公使ケネス・バットン (カルカッタ總領事) (八四九三)

九二六五 米國務次官米西交渉に關して言明 米國務次官ステッチニアスは記者會見に

於て、スペインからウォルフラムの對獨輸出停止其他スペインの對獨援助中止に關する米西交渉は未だ續行されてゐるがスペイン政府は最近桐油の對獨輸出は停止した旨を述べた (九一九八)

九二六六 加對亞國交停止 カナダ首相マッケンジー・キングは、カナダ政廳は米英兩國と共同歩調を取りアルゼンチンに對し國交を停止した旨言明した(九二一〇)

九二六七 亞大統領更迭 アルゼンチン大統領ラミレス將軍は午前正式に大統領を解任した (九二六六)

九二六八 コロンビア大統領辭職 コロンビア大統領ロベスは午前臨時議會を召集し大統領を辭職した旨を發表し引續き新内閣を組織した (九二三八)

九二六九 濠洲罷業炭坑の接收決定 濠洲政廳は罷業中のニュー・サウスウェールズ州の炭坑を接收することに決定した (九一〇九)

九二七〇 英の對米逆租賃 英藏相アンダーソンは下院に於て、一九四三年十二月三十一日迄に英本土に於て米國に逆租賃として供給した施設、物資、勞務及海運は總計三億三千九百萬鎊に達する旨發表した (七七四七)

九二七一 英外相英波同盟條約存續言明 英外相イーデンは下院に於て質問に答へ、一九三九年八月二十五日ロンドンに於て調印された英國ポランド同盟條約は調印の日から五箇年間有効で同期間滿了六箇月以前に廢棄通告がなれば效力を持續することとなつてゐる、従つて本年八月には條約は廢棄されず別に條約を更新する措置を必要としない旨を述べた (八五八九)

九二七二 英各政黨政府の外交政策に反對動議を下院に提出 労働黨自由黨其他の英各

政黨所屬議員六十三名は左記趣旨の動議を下院に提出した

一、首相チャーチルが大西洋憲章をドイツ國民其他に適用しないこと述べたのは理論上失

當で徒らに戰爭を長引かす結果となるであらう

一、東歐各國をソ聯政府の掌中に委ねようとする外交政策には反對である

(九一一四)

九二七三 亡命ユーゴスラヴィア國王ロンドン着 亡命ユーゴスラヴィア國王ベタ

ール二世はカイロから空路ロンドンに到着した

(八七八三)

九二七四 英炭坑罷業の擴大に政府妥協案 英モンマスシャー並にウエールズ地方一帯に

於る罷業炭坑夫數は九萬人に達し、更にスコットランド地方の炭坑九箇所坑夫七千人が罷業を開始した

英燃料相ロイド・ヂョーヂは、極度の塵埃と水溜の中で働く炭坑夫に對し特別手當の支拂に同意し、特にサウス・ウエールズ地方の炭坑には特殊事情を考慮に入れ手當を考慮する用意があるが罷業團の復業が先決である旨の罷業炭坑夫に對する妥協案を發表した

(九二五三)

九二七五 ロシア共和國外務人民委員任命 ソ聯外務人民委員部の代辯者アナトール・

ラヴレンチエフはロシア共和國外相に任命された

(八八三九)

九二七六 會社經理統制令改正 勅令會社經理統制令並に同施行規則中改正に關する件が公布せられた、來る十日より實施せられる

三月十日 金曜日

九二七七 獨軍ウマン市撤退 獨總統大本營は東部戦線の獨軍が西ウクライナの要衝ウ

(九〇四〇)

マン市 Dnepad を撤退した旨發表した

九二七八 米エアー政府に日獨兩國代表の引揚措置要求 米國務長官ハルは記者會見に

於て、エアー國內に樞軸國の領事竝に外交代表が駐在してゐることは米軍將兵の生命
竝に反樞軸軍の軍事行動に對する危険を構成するものであつて米國政府はエアー政府
に同國內に駐在する日獨兩國代表引揚のため機宜の處置を講ずるやも要求したがエア
ー政府は右の要求を拒絶した旨言明した

(九一〇三)

九二七九 米市民防衛局長官任命 ウキリアム・ハスケルが米市民防衛局長官に任命せ

(九〇七八)

られた

九二八〇 亞副大統領フアーレル大統領に就任 アルゼンチン政府書記官長タウベル大

佐の發表に依れば副大統領フアーレルは正式に大統領に就任した (九二六七)

九二八一 亞及ポリヴィア外交官に對し米外交査證發給停止 米國務長官ハルは記者會

見に於て米國がアルゼンチン及ポリヴィア外交官に對して外交査證發給停止措置を採

(九二八〇)

つた旨を肯定した

九二八二 濠洲首相訪英決定 濠洲首相カーチンは近々英國を訪問チャーチル首相と重

(九〇五二)

要會談を行ふ旨發表した

九二八三 獨ルントシユテツト元帥西歐海岸地帯檢閲 西歐占領地區、獨軍總司令官フオ
ン・ルントシユテツト元帥は七日から本日迄西歐海岸地帯の要塞線を檢閲し將兵を激
勵した (八九九〇)

九二八四 全ソ聯邦勞働組合會議開會 第十二回全ソ聯邦勞働組合會議が開會された

同會議の主要議題は次の通である

マ全ソヴエト社會主義生産競争の強化

マ一九四四年に於る個人竝に集團所有野菜園の擴張

マ勞働者専用食堂店舗等に對する統制強化 (八一二九)

九二八五 ルーマニアに於るユダヤ人登録 ルーマニア政府は一八八九年竝に一八九〇

年生のブカレスト在住ユダヤ人に對し四十八時間以内に登録すべき旨を布告した (八七七一)

九二八六 國民總蹶起運動の展開 國民總蹶起運動の展開に關する件が閣議に於て決定

せられた (九二四一)

九二八七 船員動員強化及食糧の加工竝に貯藏 緊急船員動員強化要綱に關する件及決

戰非常措置要綱に依る食糧加工貯藏の徹底に關する件が閣議に於て決定せられた (九二八六)

三月十一日 土曜日

九二八八

ニューギニア島及アドミラルティ諸島戦況

ニューギニア島及アドミラルティ

(214)

イ諸島に於る戦況が次の如く大本營から發表せられた

マニユーギニア島戦況

(イ) 昨年末フィンシハーヘン附近よりカラサ西北方地區に集結せる我部隊は爾後殆ど敵の追躡を受けることなく更にグンビ岬南方を経て三月上旬マダン附近に集結を完了し態勢整理中である

(ロ) グンビ岬附近及マダン南方地區の我部隊は優勢なる敵の出撃を撃碎して撤退部隊收容の任を完うすると共に敵に大なる損害を與へつつある

(ハ) 該方面に於る一月初頭より現在迄の戦果及我方の損害は次の通である
敵に與へた損害 人員約四千名（内遺棄死體約千八百）

飛行機撃墜破三百八十一機

魚雷艇撃沈破十二隻

我方の損害

戦死及戦病死約九百五十名

飛行機八十八機（九二四四）

アドミラルティ諸島戦況

アドミラルティ諸島ロスネダロス島に上陸した敵は爾後逐次兵力を増強中であつて同島の我部隊及航空部隊は之を邀撃し連日激戦中である

（九二四三）

九二八九 皇軍ハウワイ島上陸企圖の敵軍を殲滅 敵はアドミラルティ諸島マヌス島口
レンカウ Loreau 北方沖合約一軒に位するハウワイ HAWAII 島西岸に魚雷艇及上陸
用舟艇各一隻を以て上陸を企圖し來つたが所在の我海軍部隊は之を邀撃殲滅した

(九二八八)

九二九〇 敵機ラバウルに來襲 敵機戦爆連合延七十機が朝數回に亘りラバウルに來襲

所在部隊は之と交戦し其一機を撃墜した我方の損害は輕微であつた(九二八八)

九二九一 我軍桂林空襲 我陸軍航空部隊は爆撃機隊を以て午前二時五十分より數次に

亘り桂林を攻撃し地上にあつた大型機二機を炎上同九機を撃破他の一部は同市内の各

軍事施設を爆撃し全機歸還した (八九六〇)

九二九二 獨軍英本出空襲 獨軍當局の發表に依れば獨軍快速爆撃機隊は夜英本南部

の諸都市を爆撃全機無事歸還した (九二三〇)

九二九三 米空軍のイタリ―北部爆撃 獨軍當局の發表に依れば米空軍四發爆撃機の數

編 隊は戰闘機の直衛下に白晝イタリ―北部のパドア及アイレンツエ兩市を盲爆し十

三廿四の建築物として有名なパドア市の教會堂が破壊された

地中海方面反樞軸軍司令部當局の言明に依れば米空軍B群中型爆撃機隊はイタリ―の

フロレンス市を初爆撃した (九二五八)

九二九四 米政府の對エア―要求に關して英政府態度表明 英政府は、エア―駐在日獨

兩國外交官並に領事館員を同國から退去せしめることを要求した米政府の對エア―通牒に對し英國政府は全副の同意を與て居り米政府が本問題に就て卒先行動に出たことを歓迎する旨の意思表示をしたと發表した (九二七八)

九二九五 在華府エア―公使館對米回答内容發表 在華府エア―公使館は、エア―政府

が日獨兩國外交官の國外退去を求めるところは樞軸國に對し交戰状態に入る第一歩を意味するもので斯る事態の發生こそエア―が全力を盡して回避せんとしてゐる所である旨のデ・ヴァレラ首相から米政府に送付された米政府の要求拒否回答の内容を發表した (九二九四)

九二九六 租賃法創設以來の米の飛行機租賃狀況 大統領は租賃法創設三周年記念日

に際し一九四一年三月以來米國製飛行機十五萬機の内二萬一千機を反樞軸各國に送つたがソ聯へは七千八百機、英國へは現金支拂に依り七千機、太平洋並に東亞地域へは四千機を送つた旨を述べた (九二九五)

九二九七 米の對重慶政權租賃援助狀況 米外國經濟院長クローリーは租賃法に依る米

國の重慶政權援助は左記諸項目より成る旨を言明した
一、インドから支那各地への航空路の開拓、輸送機の供給、飛行場及倉庫設備等の建設に米陸軍空輸部隊が當つてゐる

マシエンノート指揮下の重慶並に米航空部隊への石油、爆弾其他の物資の空輸供給

マ重慶政權兵器廠に對する物資の空輸供給

マ雲南省に於て訓練中の重慶政權軍に對する兵器の空輸供給

マ米國及インドに於る重慶政權空軍の訓練並に同空軍に對する戦闘機の供給(九二九三)

九二九八 英炭坑罷業の擴大及造船所罷業 サウスウエールズ地方の炭坑罷業は本日二

炭坑が新に罷業を開始した外ノース、ウエールズの三炭坑も罷業に参加した、更に罷

業は各種工業部門へ蔓延の兆を示しウエールズ地方の鋼鐵並に錫工業労働者も炭坑罷

業が協定に到達する迄同情罷業を行ふこととなり本日罷業を開始した

英北アイルランドのベルファスト市造船所従業員は過般來罷業繼續中であつたが罷業

は漸次擴大し罷業参加人員は本日三千名に達した (九二七四)

九二九九 駐ソ亡命ユーゴースラヴィア政權大使亡命政權を離脱 駐ソ亡命ユーゴース

ラヴィア政權大使シミツチ並に同陸軍武官ロジツチは、カイロの亡命政權はユーゴ

スラヴィアの正統政府に非ずチト政權が同國唯一の政府であり爾今亡命政權との關

係を絶ちチト政權に参加する旨のチト宛書翰をプラウダ紙に發表した(九二七三)

九三〇〇 土空軍士官渡米決定 トルコ陸軍省はトルコ空軍士官並に下士官を訓練のた

め近く米國に派遣する旨發表した

(八〇八六)

九三〇一 敵機ラバウル及ウエワクに來襲 朝敵戰爆連合延九十機がラバウルに來襲したが所在部隊は之を激撃戰闘機二機を撃墜した、我方の損害は輕微である

ニューギニア島方面の我部隊は三月十一日及本日の兩日ウエワク地區に來襲せる敵機延約三百二十機を激撃し其五十二機（内不確實二）を撃墜した、我方自爆未歸還六機を出したが地土の損害は輕微である (九二九〇)

九三〇二 敵機香港に來襲 敵爆撃機延十二機が午前から午後に亘り香港に來襲したが

我海軍航空部隊及所在部隊は之を激撃々退した、我方被害なし (八八七〇)

九三〇三 獨軍タルノポリ周邊戰線増強 獨軍は本日タルノポリ BIRHOPT 周邊の戰

線に装甲列車、重砲等を含む極めて有力なる部隊を増援し同地區よりドニエブル下流

地區に至る四百五十哩の戰線確保に着手した (九一五九)

九三〇四 英空軍ドイツ西部爆撃 英空軍省發表に依れば英空軍モスキート爆撃機隊が

夜ドイツ西部の諸目標を爆撃した (九二四五)

九三〇五 米國務省米英西インド會議開催發表 米國務省は來る二十一日から三十一日

迄英領西インドのバルバドス島ブリヂタウン BRIGHTON に於て西インド會議を開

催カリブ海地域に於る米英兩國領土の經濟社會各般に亘る協力計畫を討議する旨發表

した右會議にはプエルトリコ、ヴァーヂン、ジャマイカ、英領ギニア、バハマ等の各島

興から天々代表二名が出席する

(九二三五)

(219)

九三〇六 米石炭貯蔵高著減

米戦時人的資源委員会は、本委員会の調査に依れば四月

一日になれば米国内石炭業者は僅に十日乃至十二日分位の手持石炭を有するに過ぎなくなり今後石炭の生産が遅延することがあらば由々敷事態を惹起するに至るであらう、従つて更に多数の勞務者を炭坑に送らねばならぬ旨を聲明した (九〇三〇)

九三〇七 英アイルランド島と英國間の旅行禁止

英政府は軍事情報の漏洩を阻止する

ため英國とアイルランド島間の旅行は例外的場合を除き一切許可しない旨及英國に在住するアイルランド人勞働者に對してもアイルランド島に在る家庭訪問を許可しない旨を發表した

英政府は夜北アイルランドとエアースの國境を事實上閉鎖しエアースから毎日北アイルランドに出勤する勞働者の國境通過證を一切取消した (九二九五)

九三〇八 伊軍參謀總長更迭

イタリー社會主義共和國參謀總長は更迭しアーキム・リ

ツビー大將が後任總長に任命された

(八四二六)

三月十三日 月曜日

九三〇九 米機ラパウルに來襲

午前敵機機連合延約百機が敵國に亘りラパウルに來襲

我所在部隊は之と交戦其部隊撃退した、我方地上に若干の損害があつた

(九三〇一)

九三一〇 米國印度間空輸狀況

米陸軍當局は、陸軍空輸部隊に依る米國インド間空輸はフロリダ州の基點からブラジル、アフリカ經由でインドに至るが其飛行距離は一萬一千五百哩で三日半を以て羽破する、使用飛行機は四發輸送機で乗組員は片道五回交替し天候に因り空輸が中斷されることはなく空輸機の使用時間は燃料搭載、機體點檢等を含めて一日平均十一時間で此空輸に従事する搭乗員數は約百名である旨を述べた

(八四〇八)

九三一― 米兵七十五萬文盲に由り除隊さる

リスボン發毎日特電に依れば米國內で七十五萬の壯丁が無學文盲の故を以て除隊された

(九〇四四)

九三一二 盲爆に因る佛人の損害

グイシー發同盟軍に依れば一九四三年中の反樞軸空軍の盲爆に因るフランス人の死傷は二萬一千名に達し約三十萬人は住宅に損害を蒙つた

(九二五九)

九三一三 二月中の英國內に於る爆撃被害

英内務省は二月中の爆撃で英國人の間に死亡及行方不明と推定される者九百六十一名、負傷者及入院患者千七百十二名を出した旨發表した

(九一九五)

九三一四 少將ドウリツトル進級

口大統領は英國駐屯米陸軍第八航空部隊司令官少將ドウリツトルを中將に進級せしめるため上院の承認を求めた

(八七一四)

九三一五 ソ聯バドリ才政權承認

伊バドリ才政權はソ聯の承認を得て兩國間に大使を

交換することとなつた旨發表した

ソ聯政府は伊バドリオ政權を承認兩國の外交關係の復活せる旨を夜發表した

九三一六 米軍米人技術者のエア―入國禁止 北アイルランド駐屯米軍司令九六部は主とし

て航空關係米人技術者のエア―入國を禁止した (九三〇七)

九三一七 濠洲エア―政府の調停依頼拒否 リスボン發同盟軍に依れば濠洲首相カ―チ

ンは米英兩國政府のエア―國內樞軸公館閉鎖方の申入拒否問題に關するエア―政府の
居中調停依頼を拒絶した旨言明した、尙カナダ政廳も同様の調停依頼を拒絶した

(九三一六)

九三一八 濠洲炭坑罷業一部復業 濠洲政廳はニュー・サウスウエールズ州南岸の炭坑

夫は十四日から復業することとなつた旨發表した、尙現在迄の罷業に因る出炭喪失高
は二十三萬噸に上る (九二六九)

九三一九 英炭坑罷業一部復業 ウエールズ地方の罷業炭坑夫は先週末各坑區に於て罷

業を繼續すべきか否かに就て投票を行つた結果罷業繼續四萬三千二百四十八票、復業
六萬九百六十三票で組合執行委員會は罷業坑夫に對し即時復業を指令本日夕刻迄に罷
業坑夫の約三分の一が復業した (九二五三)

九三二〇 南阿首相後任南阿總督に南阿人起用進言 南阿首相スマツツは國會に於て前

年死去した南阿總督ダンカンの後任に南阿人を起用するやう英國皇帝に進言した旨言
明した (八一二七)